１．九州工業大学情報工学部学修細則

平成　８年１２月１８日
九工大情報工学部細則第８号

最終改正　令和　８年　２月２４日九工大情工細則第１号

（目的）

第１条　この細則は，九州工業大学学則（平成１９年九工大学則第１号。以下「学則」という。）第１章第５節（修業年限，在学期間，教育課程，履修方法等）及び第７節（卒業及び学位）に基づき，情報工学部における教育課程の編成，その履修方法，修了の要件，単位の授与等に関し，必要な事項を定めるとともに，学則第２９条第１項第４号に規定する除籍を情報工学部において適用する上で必要な事項を定めることを目的とする。

（履修区分）

第１条の２　次に掲げる学科に，履修上の区分として，分野及びコースを置く。

学　科	分　野	コース
情報工学科	知能情報工学分野	データサイエンス・ＡＩコース
		ＡＩ・メディア情報学コース
		ソフトウェア情報学コース
	電子情報通信工学分野	情報ネットワークコース
		情報エレクトロニクスコース
	知的システム工学分野	ロボティクス・システム制御コース
		システムデザインコース
	生命情報工学分野	医用工学コース
		環境生命工学コース

２　前項に掲げる分野に所属する２年次以上の学生は，当該分野におかれているコースのいずれかの１つを履修しなければならない。

３　コースの決定の方法については，別に定める。

（履修区分の変更）

第１条の３　前条第１項に掲げる分野に所属する学生で分野及び分野内のコースの変更を願い出た者については，別に定める方法により審査のうえ，情報工学部長が変更を許可することがある。

（学習・教育到達目標）

第２条　情報工学部は，九州工業大学が掲げる「技術に堪能なる士君子の養成」という教育到達目標を，情報工学の分野において実現するための教育を行う。

２　情報工学部は，この教育到達目標を各々の教育分野において実現するため，第５条第２項及び第３項ごとに学習・教育到達目標を具体的に設定し，広く学内外に公表する。

３　情報工学部は，前項により設定する学習・教育到達目標の達成状況に関して，定期的に点検と評価を行い，その結果を広く学内外に公表する。

４　情報工学部は，学部の教育に対する社会の要求や学生の要望を把握するための調査を行い，前項の点検と評価の結果と合わせて，学習・教育到達目標の見直しを行う。

（教育課程）

第３条　教育課程は，学習・教育到達目標に基づいて設計し，学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目を開設する。

２　情報工学部は，学部の教育に対する社会の要求や学生の要望に関する調査の結果及び学習・教育到達目標の達成度に関する点検と評価の結果を踏まえて，教育課程の見直しを行う。

（授業計画）

第４条　授業計画（シラバス）は，情報工学部が開設する各々の授業科目について，各開講年度ごとに作成し，広く学内外に公表する。

２　授業計画には，授業の概要，教育課程における位置付け，授業方法，授業時間ごとの内容，達成され

るべき目標 ，成績評価の基準及び方法，授業外学習（予習・復習）の指示，教科書等を記載する。
３　各授業科目の担当教員（以下「授業担当教員」という。）は，授業計画に基づいて授業を実施し，記載された成績評価の基準及び評価方法により成績評価を行う。
４　情報工学部は，授業アンケート等により得られる学生の意見や要望及び学習・教育到達目標の達成度に関する点検と評価の結果を踏まえて，授業計画の見直しを行う。
（履修課程表）
第５条　情報工学部の教育課程が開設する授業科目は，教養教育科目区分，基礎科目区分，情報技術者科目区分及び専門科目区分の４つの科目区分に分類される。
２　教養教育科目区分は，学部共通の教育課程であり，その履修課程表は別表第１のⅠに定める。
３　基礎科目区分，情報技術者科目区分及び専門科目区分は，各分野が個別に編成する教育課程であり，その履修課程表は，別表第１のⅡに定める。
４　前２項の規定にかかわらず，３年次編入生のための履修課程表は，別表第２に定める。
（授業科目の単位区分及び履修年次）
第６条　教育課程の編成に基づいて，各授業科目を必修科目，選択必修科目及び選択科目の３つの単位区分に分類し，１年次から４年次までの各履修年次に配当する。
２　学生は，自分が在籍する年次を超える履修年次の授業科目を履修することはできない。
３　学生は，曜日と時限が同一なる授業科目を重複して履修することはできない。
（教育課程の修了要件）
第７条　情報工学部における教育課程を修了するには，学則第８条に定める修業年限を満たし，第５条に定める履修課程表に従って授業科目を履修し，別表第３に定める単位数を修得しなければならない。
２　３年次編入生が情報工学部における教育課程を修了するには，学則第８条に定める修業年限を満たし，第５条に定める履修課程に従って授業科目を履修し，別表第４に定める単位数を修得しなければならない。
３　第１項の規定にかかわらず，別に定める九州工業大学情報工学部における早期卒業取扱要項（平成１２年１０月２５日制定）の早期卒業の要件を満たす場合には，３年以上の在学により情報工学部における教育課程を修了することができる。
（進級の要件）
第８条　学生は，１年次から２年次に進級するためには，１年以上在学し，別表第５に定める２年次進級要件を満たさなければならない。
２　学生は，２年次から３年次に進級するためには，２年以上在学し，別表第５に定める３年次進級要件を満たさなければならない。
３　学生は，３年次から４年次に進級するためには，３年以上在学し，別表第５に定める４年次進級要件を満たさなければならない。
４　３年次編入生は，４年次に進級するためには，３年次に１年以上在学し，別表第６に定める４年次進級要件を満たさなければならない。
５　前４項の規定にかかわらず，病気による休学又は留学等の正当な事由があり，かつ，教育上有益であると教務委員会が認める場合には，進級の要件を満たしていない場合であっても，上級年次への進級を許可することがある。
（履修登録）
第９条　学生は，各学期において履修しようとする授業科目について，その学期の履修登録期間内に履修登録を行わなければならない。
２　前項の規定にかかわらず，集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目については，授業科目ごとに掲示される履修登録期日までは，履修登録カードを教務係に提出することにより，履修登録を行うことができる。
３　正当な事由により，定められた期間内に履修登録又は修正登録を行うことができなかった場合，学生は所属分野の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で，期間外履修登録カード　を教務係に提出することにより，履修登録又は修正登録を行うことができる。
（履修登録の取消し）
第１０条　学生は，履修登録した授業科目の履修を取りやめにする場合には，その学期の履修登録取消し期間内に，所定の方法による取消しを行わなければならない。別に指定する科目は履修登録取消しカードを教務係に提出することにより，履修登録の取消しを行うことができる。
２　前項の規定にかかわらず，集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目の場合には，授業

科目ごとに掲示される履修登録取消し期日までは，履修登録の取消しを行うことができる。
３　正当な事由により，定められた期間内に履修登録の取消しを行うことができなかった場合，学生は所属分野の教務委員の許可を得た上で，履修登録取消しカードを教務係に提出することにより，履修登録の取消しを行うことができる。

（履修登録の制限）

第１１条　学生は，既に修得した授業科目並びに第２０条及び第２１条の規定により単位認定を受けた授業科目については，履修登録を行うことはできない。
２　学生が年間に履修登録できる科目の総単位数は，４４単位（各学期２２単位）を上限とする。ただし，集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目及び教育の基礎的理解に関する科目等については，この単位数の合計には含めない。
３　履修登録する学生数が授業科目の受け入れ限度を超えた場合，一部の学生の履修を許可しないことがある。その場合，学生は授業科目を担当する教員の指示に従って，修正登録期間内に修正登録を行わなければならない。

（履修登録の制限に関する特例）

第１２条　第８条の規定による原級留置（留年）がある２・３年次の学生が第６条第２項に規定する年次より上級の履修年次の授業科目の履修を希望し，かつ，所属分野の教務委員及び授業担当教員が教育上有益であると認めて許可する場合，学生は，上級年次の授業科目の履修願を履修登録期間内に教務係に提出することにより，上級年次の授業科目を履修することができる。ただし，選択必修科目及び選択科目について，すべての原級留置がないと仮定した年次を在籍年次とみなし，履修登録をすることができる。
２　第８条の規定による原級留置（留年）がある１年次の学生においては，所属分野の教務委員が教育上有益であると認めて許可する場合，上級年次の授業科目の履修願を履修登録期間内に教務係に提出することにより，上級年次の授業科目を履修することができる。
３　前２項の規定にかかわらず，所定の科目においては，第８条の規定による原級留置（留年）の有無によらず，所属分野の教務委員及び授業担当教員が教育上有益であると認めて許可する場合，学生は，上級年次の授業科目の履修願を履修登録期間内に教務係に提出することにより，上級年次の授業科目を履修することができる。
４　前条第２項の規定にかかわらず，第２２条に規定する当該年度の前年度のＧＰＡ（Grade Point Average）の値が２．７以上の者は，当該学期に履修登録できる総単位数の上限を２４単位とする。

（成績評価）

第１３条　履修登録を行って履修した授業科目については，授業担当教員が，授業計画に記載されている成績評価の基準及び評価方法により１００点満点で成績評価を行う。
２　前項の規定にかかわらず，学生が正当な事由がなく授業科目の総授業時間数の３分の２以上出席していなければ，その授業科目の成績評価は０点とする。
３　成績評価を標語で表示する場合には，次の基準による。

秀又はＡ	９０点 ～	１００点	達成目標を十分に達成し、極めて優秀である
優又はＢ	８０点 ～	８９点	達成目標を十分に達成している
良又はＣ	７０点 ～	７９点	達成目標を達成している
可又はＤ	６０点 ～	６９点	達成目標を最低限度達成している
不可又はＦ	０点 ～	５９点	達成目標を達成していない。

４　成績評価に用いられた主要な資料（試験問題，試験答案，レポート課題，提出レポート等）は，成績評価の妥当性を必要に応じて検証するための基礎資料として，国立大学法人九州工業大学法人文書管理規程（平成２３年九工大規程第９号）別表の規定により保存期間５年の文書として取り扱う。
５　個別の授業科目の成績評価に対して不満がある場合は，別に定めるところにより，確認及び異議を申し立てることができる。

（合否による成績評価）

第１３条の２　前条の規定にかかわらず，学部及び教養教育院の教務を所掌する委員会が必要と認める授業科目の評価については，合否による２段階評価を用いることができる。
２　前項の成績評価を評語で表示する場合には，次の基準による。

合格又はＰ	達成目標を達成している
不合格又はＮＰ	達成目標を達成していない

３　履修登録を行った授業科目の内，認定試験や外部試験等の結果により，既に授業科目の達成目標を

達成していると認められる場合は，当該科目の単位を認定し，第２項までの規定を準用して成績評価を行うことができる。

（単位の授与等）

第１４条　第１３条の成績評価の結果を合否の種別により表示する場合には，次の基準による。

合格　６０点 ～ １００点

不可　０点 ～ ５９点

２　前項及び第１３条の２の規定により，合格と判定された授業科目については，履修課程表に規定されている単位数が与えられる。

３　学生は，合否判定の結果にかかわらず，履修した授業科目の成績評価の取消しを求めることはできない。

（学期末・学年末試験で不可になった場合の措置）

第１５条　再試験は，実施しない。

２　前項の規定にかかわらず，授業科目の総授業時間数の３分の２以上の授業に出席して不可となった学生のうち，授業担当教員が必要と認めた学生に対して，試験その他の方法による確認を加えて行い，その結果に基づき成績の修正を行うことがある。

３　成績の修正は，その授業科目が開講された学期の成績報告期限内に行い，その学期内に確定した成績評価を学生に通知する。

（他分野の授業科目の履修）

第１６条　所属分野の履修課程表に含まれない授業科目（他分野科目）の履修を希望する学生は，所属分野の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で，履修登録期間内に所属分野の履修課程表にない授業科目（他分野科目）履修願を教務係に提出しなければならない。

２　前項の規定により履修を許可された授業科目は，専門科目区分の選択科目として取り扱われる。

（他学部の授業科目の履修）

第１７条　他学部の授業科目の履修を希望する学生は，所属分野の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で，履修登録期間内に他学部の科目の履修願を教務係に提出しなければならない。

２　前項の規定により履修を許可された授業科目は，所属分野の教務委員の判断によりその授業科目の内容に応じた科目区分の選択科目として取り扱われる。

（大学院の授業科目の履修）

第１７条の２　大学院情報工学府の授業科目の履修を希望する学生は，所属分野の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で，履修登録期間内に履修登録カードを教務係に提出しなければならない。

２　前項の規定により履修できる授業科目は，別に定める。

３　履修登録できる学生は３年次以上の者とし，修得できる単位数は卒業までに１５単位までとする。

４　第１項の規定により履修を許可された授業科目は，卒業要件には加算されない。

（教職課程）

第１８条　教育職員免許法（昭和２４年法律第１４７号）による免許状を取得しようとする学生は，別表第７に定める教職課程の授業科目を履修しなければならない。

（外国人留学生等の教養教育科目の履修に関する特例）

第１９条　外国人留学生等の日本語科目及び日本事情に関する科目の履修及び単位の修得に関しては，九州工業大学外国人留学生等の教養教育科目履修の特例に関する細則（平成５年九工大細則第１号）による。

（他大学等における授業科目の履修及び単位認定）

第２０条　他大学等において履修した授業科目で，学則第１３条及び第１３条の２の規定により，情報工学部における授業科目の履修により修得したと認定される授業科目については，認定された情報工学部の授業科目の科目区分及び単位区分により単位が与えられる。

２　認定された授業科目については，成績評価を行わない。

（既修得単位の認定）

第２１条　本学に入学，再入学又は転入学する以前に履修した授業科目で，学則第１４条，第２２条及び第２３条の規定により，情報工学部における授業科目の履修により修得したとされる授業科目については，認定された情報工学部の授業科目の科目区分及び単位区分により単位が与えられる。

２　３年次編入生を対象とした既修得単位の認定に関しては，別に定める。

３　学生は，単位認定取下げ願を教務係に提出することにより，認定された授業科目の認定を取り下げることができる。

４　認定された授業科目については，成績評価を行わない。
５　学則第２４条の規定により移籍をした学生の既修得単位の認定は，前項までの規定を準用する。
６　第１条の３の規定により分野及びコースの変更をした学生の既修得単位の認定は，第４項までの規定を準用する。
（認定に用いる評語）
第２１条の２　第２０条及び第２１条の単位認定に用いる評語は，認定又はＲとする。
（ＧＰＡによる総合成績の評価）
第２２条　学生の総合的な成績は，ＧＰＡ（Grade Point Average）を用いて評価する。
２　ＧＰＡは，学生が履修した全ての授業科目について，評価点（Grade Point）をつけ，この評価点を各々の授業科目の単位数による加重をつけて平均した値である。成績評価を評価点に換算する場合は，次の基準による。
９０点 ～ １００点　４．０
８５点 ～ ８９点　３．５
８０点 ～ ８４点　３．０
７５点 ～ ７９点　２．５
７０点 ～ ７４点　２．０
６５点 ～ ６９点　１．５
６０点 ～ ６４点　１．０
０点 ～ ５９点　０
３　第１３条の２の規定により評価された授業科目，第２０条及び第２１条の規定により単位認定された授業科目並びに卒業要件に加算されない授業科目は，ＧＰＡの計算の対象には含めない。
４　同じ授業科目（既に修得した授業科目並びに第２０条及び第２１条の規定により単位認定を受けた授業科目を除く。）を複数回履修した場合，各々の授業科目の評価点がＧＰＡの計算の対象となる。
（授業アンケート）
第２３条　情報工学部は，開講する各々の授業科目について，その授業内容及び授業方法に対する学生の感想や意見，要望を把握し，それを受けて授業内容及び授業方法の改善を図ることを目的として，授業アンケートを実施する。
２　授業アンケートの実施方法その他必要な事項は，別に定める。
（指導教員）
第２４条　勉学に関する学生への支援を目的として，各々の学生に対して１人の指導教員を割り当てる。
２　指導教員は，担当する学生に関する教務情報を閲覧することができ，閲覧した情報に基づいて，学生の勉学を助け，学生の勉学意欲の増進を図ることを目的とした助言を行う。
（学力不振者の除籍）
第２５条　学生が，連続する２年間（休学期間を除く。）において，年度末時点で３０単位以上修得しなかった場合は，学則第２９条第１項第４号該当者として取り扱う。ただし，次に掲げる者を除く。
(1)　３年次以上の者
(2)　第８条第２項に規定する要件を満たし，３年次に進級する者
２　前項の規定にかかわらず，疾病若しくは負傷等，特別な理由がある者にあっては，情報工学部長は教務委員会に意見を求めることができるものとする。
（試験における不正行為に対する懲戒）
第２６条　試験において不正行為を行った学生に対しては，当該学期に履修登録した授業科目の全部又は一部について，その成績評価を０点とし，単位を与えない。
２　特に悪質な不正行為を行った学生に対しては，前項の措置に加えて，学則第８８条該当者として取り扱う。
（雑則）
第２７条　この細則に定めるもののほか，必要な事項は別に定める。

附　則（最終改正分）
１　この細則は，令和８年４月１日から施行する。
２　この細則の規定にかかわらず，令和８年３月３１日に在籍する者（以下「在籍者」という。）及び令和８年４月１日以後に在籍者の属する年次に編入学・再入学・転入学する者に係る教育課程の編成，履修方法，修了要件，単位の授与等については，なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

Ⅰ　教養教育院履修課程表

○教養教育科目

区分		授業科目	単位 必修	単位 選択必修	単位 選択	授業時数 1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	開講キャンパス	備考
人文社会科目		人文社会基礎		1		1								戸・飯	
		哲学A		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		哲学B		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		教育学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		文学A		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		文学B		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		歴史学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		地域研究A		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		地域研究B		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		法学A		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		法学B		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		日本国憲法A		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		日本国憲法B		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		経済学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		経営学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	副
		社会学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		政治学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		職業と社会		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		心理学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		健康スポーツ科学論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		スポーツ実技		1		(2)	(2)	(2)	(2)					戸・飯	
		科学技術と社会		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		家族と社会		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		環境学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		自己探究・アントレプレナーシップ入門		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	副
		アイデア創出・思考法入門		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	副
		環境とからだ		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		現代健康論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		社会・政治思想		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		地方経済の社会学		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
グローバル教養科目	人文社会系	グローバルラーニング基礎	1			1								戸・飯	
		異文化間コミュニケーション論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		西洋近現代史		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		東南アジア文化論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		心理適応論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		東アジア論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		国際関係論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		国際経済論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		サスティナビリティ論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		日本近現代史		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		ICTと現代社会論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		科学コミュニケーション論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		市民社会論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
		ジェンダー論		1		(1)	(1)	(1)	(1)					戸・飯	
	第2外国語	言語と社会（中国語）Ⅰ		1				(2)	(2)					戸・飯	
		言語と社会（中国語）Ⅱ		1				(2)	(2)					戸・飯	副
		言語と社会（韓国語）Ⅰ		1				(2)	(2)					戸・飯	
		言語と社会（韓国語）Ⅱ		1				(2)	(2)					戸・飯	副
		言語と社会（フランス語）Ⅰ		1				(2)	(2)					戸・飯	
		言語と社会（フランス語）Ⅱ		1				(2)	(2)					戸・飯	副
		言語と社会（ドイツ語）Ⅰ		1				(2)	(2)					戸・飯	
		言語と社会（ドイツ語）Ⅱ		1				(2)	(2)					戸・飯	
英語科目		英語A1	1			2								戸・飯	
		英語A2	1			2								戸・飯	
		英語A3	1				2							戸・飯	
		英語A4	1				2							戸・飯	
		英語W1		1				(2)	(2)	(2)	(2)			飯	
		英語R1		1				(2)	(2)	(2)	(2)			飯	
		英語C1		1				(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯	
		英語S1		1				(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯	
		英語W2		1				(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯	
		英語R2		1				(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯	
		英語S2		1				(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯	
		英語W3		1				(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯	副
		英語R3		1				(2)	(2)	(2)	(2)			飯	
		英語S3		1				(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯	副
計			5	61	0										

他キャンパスでの科目履修を希望する者は事前に届け出ること。
開講キャンパス欄の戸、飯はそれぞれ戸畑キャンパス、飯塚キャンパスでの開講予定を表している。
年度ごとの開講キャンパスについては、時間割などで確認すること。
備考欄の副は、副プログラムの対象科目である。

区分		授業科目	単位			授業時数								開講キャンパス	備考
			必修	選択必修	選択	1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
教養教育選択科目	人文社会系	情報倫理			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		飯	
		ゲーム理論			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		飯	
		人文学と言語の地平			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		戸・飯	副
		国際協働演習			1									戸・飯	適宜 副
		グローバル・ディアスポラ			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		国際協力論			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		科学技術のグローバルヒストリー			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		グローバル・イシュー入門			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		フィールドワーク入門			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		地域学			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		質的調査法			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		量的調査法			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		地域創生プロジェクトⅠ			2						(2)			戸・飯	副
		地域創生プロジェクトⅡ			2							(2)		戸・飯	副
		DXと社会			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		社会データ分析			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		社会データ解析演習Ⅰ			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		社会データ解析演習Ⅱ			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		事業創造・スタートアップ論			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		技術マネジメント論			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		組織マネジメント論			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		経営管理論			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		国際ビジネス論			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		戸・飯	副
		情報社会と教育			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		情報メディアとコミュニケーション			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		飯	
		オペレーションズ・リサーチ			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		マーケティング			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		会計学			2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	副
		選択日本事情ⅠA			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		戸	隔年
		選択日本事情ⅠB			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		戸	隔年
		選択日本事情ⅡA			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		戸	
		選択日本事情ⅡB			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		戸	
	言語系	言語と社会(中国語)Ⅲ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		言語と社会(中国語)Ⅳ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		言語と社会(韓国語)Ⅲ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		言語と社会(韓国語)Ⅳ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		言語と社会(フランス語)Ⅲ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		言語と社会(フランス語)Ⅳ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		言語と社会(英語)Ⅰ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		言語と社会(英語)Ⅱ			1					(2)	(2)			戸・飯	副
		選択英語1T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	
		選択英語2T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	
		選択英語3T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	
		選択英語4T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		戸・飯	
計			0	0	68										

他キャンパスでの科目履修を希望する者は事前に届け出ること。
開講キャンパス欄の戸、飯はそれぞれ戸畑キャンパス、飯塚キャンパスでの開講予定を表している。
年度ごとの開講キャンパスについては、時間割などで確認すること。
備考欄の副は、副プログラムの対象科目である。

【英語（英語科目、教養教育選択科目 言語系）】:
英語科目の科目名に付いている記号の意味は、以下のとおりである。
A: Academic English W: Writing R: Reading C: Comprehensive(4技能) S: Speaking
1～4: レベルの違いを表す
選択英語1T～4TはTOEIC対策講座であり、1から4はレベルの違いを表す
英語科目(選択必修)の受講については、原則として、全ての英語科目(必修)を修得済みでなければならない。
選択英語1T～4Tは通常時間枠または集中講義として開講する。

【第2外国語（グローバル教養科目 第2外国語、教養教育選択科目 言語系）】:
科目名のⅠ～Ⅳは難易度を示している。(英語のみⅠ～Ⅱ)
どの言語を選択する場合でも、原則として、Ⅰから順に履修すること

○認定科目

授業科目	単位			授業時数								備考
	必修	選択必修	選択	1年		2年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養教育科目区分認定科目												

別表第1（第5条関係）

Ⅱ　各分野別履修課程表

1　知能情報工学分野

①　基礎科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
線形代数Ⅰ	2	◎	2								
離散数学Ⅰ	2	◎	2								
解析Ⅰ	2	◎	3								
線形代数Ⅱ・同演習	2	◎	3								
解析Ⅱ・同演習	2	◎		3							
確率・統計	2	◎		2							
微分方程式	2	○			2						
力学	2	◎	2								
電磁気学Ⅰ	2	○		2							
化学	2			2							
生物学	2			2							
情報工学基礎実験	1	◎		3							
プログラミング	3	◎	5								
情報工学概論Ⅰ	1	◎	2								
計算機システムⅠ	2	◎	2								
情報セキュリティ概論	1	◎	1								
情報工学概論Ⅱ	1	◎		2							
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4							
オートマトンと言語理論	2	◎		2							
計算機システムⅡ	1	◎		1							
ネットワーク通信基礎	1	◎		1							
プログラム設計	2	◎			4						
基礎科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		31									
合計 選択必修		4									
合計 選択		4									

（注）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2				2						
キャリア形成概論	2					2					
情報技術者倫理A	2	◎					2				
情報関連法規	2						2				
情報職業論	2						2				
産業組織論	2						2				
情報産業職業論	2							2			
アントレプレナーシップ入門	1							1			
アントレプレナーシップ演習	1							1			
インターンシップ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が40時間以上のものを対象とする。2、3年対象
長期インターンシップ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。2、3年対象
海外研修Ⅰ	1										(注)
海外研修Ⅱ	2										(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が60時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
合計 必修		2									
合計 選択必修		0									
合計 選択		23									

(注) 1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目		単位数	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択 データサイエンス・AIコース	AI・メディア情報学コース	ソフトウェア情報学コース	授業時数 1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
離散数学Ⅱ		2	○	◎	◎			2						
アルゴリズム設計A		2	◎	◎	○			2						
ディジタル計算機		2	○	○	○			2						
数理モデルとシミュレーション		2	○	○	○			4						
ソフトウェア工学		2	○	○	◎			2						
知能情報工学基礎実験		2	◎	◎	◎			4						
人工知能基礎		2	◎	◎	◎				2					
応用数学A		2	○	○	○				2					
オブジェクト指向プログラミング		3	○	◎	◎				4					
データベース		2	○	○	◎				2					
計算理論A		2	○	○	○				2					
信号処理A		2	○	○	○				2					
プログラミング言語処理系		2		○	◎				2					
機械学習		2	◎	◎	○				2					
知能情報工学実験演習Ⅰ		2	◎	◎	◎				4					
オペレーティングシステム		2	○	○	◎					2				
情報理論A		2	○	○	○					2				
メディア処理		2	○	◎						2				
人工知能プログラミング		3	○	◎	○					4				
自然言語処理		2	○	◎	○					2				
人工知能論理		2	○	○	○					2				
最適化		2	◎	○	○					2				
深層学習		2	○	◎	○					2				
システムモデリング		2			○					2				
知能情報工学実験演習Ⅱ		2	◎	◎	◎					4				
脳型システムA		2								2				
コンピュータグラフィックスA		2		◎							2			
コンピュータビジョンA		2		◎							2			
人工知能応用		2	○	○							2			
データ解析A		2	◎	○	○						2			
データ圧縮		2	◎	○							2			
文字列データ処理		2	○	○							2			
組込みプログラミング		2			○						2			
コンピュータセキュリティ		2			○						2			
知能情報工学プロジェクト		2	◎	◎	◎						6			
知能情報工学特別講義		1	◎	◎	◎						2			
卒業研究		8	◎	◎	◎							6	18	
特別卒業研究		8	◎	◎	◎						24			(注1)早期卒業科目
専門科目区分認定科目Ⅰ														選択必修科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅱ														選択科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅲ														選択必修科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅳ														選択科目の単位として個別に認定する(注2)
合計	必修		29	41	32									
	選択必修		38	32	35									
	選択		14	8	14									

(注1) 特別卒業研究は学修細則第7条第3項に該当する場合のみ履修可

(注2) 1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

2 電子情報通信工学分野

① 基礎科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
線形代数Ⅰ	2	◎	2								
離散数学Ⅰ	2	◎	2								
解析Ⅰ	2	◎	2								
線形代数Ⅱ・同演習	2	◎	3								
解析Ⅱ・同演習	2	◎		3							
確率・統計	2	◎		2							
微分方程式	2	◎			2						
力学	2	◎	2								
電磁気学Ⅰ	2	◎		2							
化学	2			2							
生物学	2			2							
情報工学基礎実験	1	◎		3							
プログラミング	3	◎	5								
情報工学概論Ⅰ	1	◎	2								
計算機システムⅠ	2	◎	2								
情報セキュリティ概論	1	◎	1								
情報工学概論Ⅱ	1	◎		2							
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4							
オートマトンと言語理論	2			2							
計算機システムⅡ	1	◎		1							
ネットワーク通信基礎	1	◎		1							
プログラム設計	2	◎			4						
基礎科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		33									
合計 選択必修		0									
合計 選択		6									

（注）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2				2						
キャリア形成概論	2					2					
情報技術者倫理E	2	◎					2				
情報関連法規	2						2				
情報職業論	2						2				
産業組織論	2						2				
情報産業職業論	2							2			
アントレプレナーシップ入門	1							1			
アントレプレナーシップ演習	1							1			
インターンシップ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が40時間以上のものを対象とする。2、3年対象
長期インターンシップ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。2、3年対象
海外研修Ⅰ	1										(注)
海外研修Ⅱ	2										(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が60時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
合計 必修		2									
合計 選択必修		0									
合計 選択		23									

(注) 1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択			授業時数								備考
	単位数	情報ネットワークコース	情報エレクトロニクスコース	1年		2年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
電子情報通信実験Ⅰ	2	◎	◎			4						
論理設計	2	◎	○			2						
アルゴリズム設計E	2	○	○			2						
電気システム回路Ⅰ	2	◎	◎			2						
熱・統計力学	2	○	○			2						
光学・波動	2	◎	◎			2						
ディジタル信号処理	2	◎	◎			2						
電磁気学Ⅱ	2	○	◎			2						
物理数学E	2	○	○			2						
電気システム回路Ⅱ	2		○				2					
ネットワークアーキテクチャ	2	◎	○				2					
現代物理学	2	◎	◎				2					
応用数学E	2	○	○				2					
電子情報通信実験Ⅱ	2	◎	◎				4					
光情報エレクトロニクス	2		○				2					
ネットワークプログラミングE	2	○					2					
情報理論E	2	◎					2					
信号処理システム	2	○	○				2					
通信理論	2	○						2				
情報セキュリティ	2	◎	◎					2				
固体物理学	2		◎					2				
通信計算量理論	2	○						2				
電子情報回路Ⅰ	2	○	◎					2				
知的情報処理	2	○						2				
電子情報通信実験Ⅲ	2	◎	◎					4				
半導体情報工学	2		○					2				
脳型システムE	2							2				
電子情報材料工学	2		○						2			
電子情報回路Ⅱ	2		○						2			
ディジタルコンテンツ	2	○							2			
電子情報通信実験Ⅳ	2	◎	◎						4			
マテリアルデータエンジニアリング	2		○						2			
ネットワークセキュリティ	2	○							2			
ディジタルシステム設計	2		○						2			
集積化システム設計演習	1									2		
ディジタルシステム設計分析	2									2		
卒業研究	8	◎	◎							12	12	
特別卒業研究	8	◎	◎						24			(注1)早期卒業科目
専門科目区分認定科目Ⅰ												選択必修科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅱ												選択科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅲ												選択必修科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅳ												選択科目の単位として個別に認定する(注2)
合計 必修		32	32									
合計 選択必修		26	28									
合計 選択		21	19									

（注1）特別卒業研究は学修細則第7条第3項に該当する場合のみ履修可

（注2）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

3　知的システム工学分野

①　基礎科目

授業科目	単位 ◎：必修・○：選択必修・空欄：選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
線形代数Ⅰ	2	◎	2								
離散数学Ⅰ	2	◎	2								
解析Ⅰ	2	◎	2								
線形代数Ⅱ・同演習	2	◎	3								
解析Ⅱ・同演習	2	◎		3							
確率・統計	2	◎		2							
微分方程式	2	◎			2						
力学	2	◎	2								
電磁気学Ⅰ	2	◎		2							
化学	2			2							
生物学	2			2							
情報工学基礎実験	1	◎		3							
プログラミング	3	◎	5								
情報工学概論Ⅰ	1	◎	2								
計算機システムⅠ	2	◎	2								
情報セキュリティ概論	1	◎	1								
情報工学概論Ⅱ	1	◎		2							
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4							
オートマトンと言語理論	2			2							
計算機システムⅡ	1	◎		1							
ネットワーク通信基礎	1	◎		1							
プログラム設計	2	◎			4						
基礎科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		33									
合計 選択必修		0									
合計 選択		6									

（注）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎：必修・○：選択必修・空欄：選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2				2						
キャリア形成概論	2					2					
情報技術者倫理S	2	◎					2				
情報関連法規	2						2				
情報職業論	2						2				
産業組織論	2						2				
情報産業職業論	2							2			
アントレプレナーシップ入門	1							1			
アントレプレナーシップ演習	1							1			
インターンシップ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間40時間以上のものを対象とする。2、3年対象
長期インターンシップ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。2、3年対象
海外研修Ⅰ	1										(注)
海外研修Ⅱ	2										(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が60時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
合計 必修		2									
合計 選択必修		0									
合計 選択		23									

（注） 1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位数	単位 ◎：必修・○：選択必修・空欄：選択 ロボティクス・システム制御コース	単位 ◎：必修・○：選択必修・空欄：選択 システムデザインコース	授業時数 1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
人工知能・機械学習Ⅰ	1	◎	◎			3						
電気回路	2	◎	◎			2						
物理数学S	2	○	◎			2						
応用数学S	2	○	○			2						
ダイナミクス	2	◎	○			2						
組込システム	2	◎	◎			2						
数値計算S	2	◎	◎			2						
データ解析S	2	◎	○			2						
システム計測	2	◎	◎			2						
熱力学	2		◎				2					
構造システムの基礎	2	◎	◎				2					
知的システム工学実験演習Ⅰ	1	◎	◎				3					
信号処理S	2	○					2					
現代制御論	2	◎	○				2					
古典制御論	2	◎	◎				2					
応力解析の基礎	2						2					
システムデザインⅠ	2	○	◎				2					
システムデザインⅡ	1	○	◎				2					
解析力学	2	○	○				2					
ロボット運動解析学	2	○					2					
画像工学Ⅰ	2	◎	◎					2				
知的システム工学実験演習Ⅱ	1	◎	◎					3				
流体システム	2	○	◎					2				
システム制御コンピューティング	2	◎						2				
流動システム	2		○					2				
システムデザイン実践演習	1	◎	◎					3				
脳型システムS	2							2				
システム同定	2							2				
システム最適論	2	○							2			
構造設計	2		○					2				
人工知能・機械学習Ⅱ	2	◎	○					2				
画像工学Ⅱ	2								2			
知的システム工学実験演習Ⅲ	1	◎	◎						3			
サーモダイナミックス	2		○						2			
機械システム演習	1		○						2			
計算力学の基礎	2	○							2			
計算熱流体工学	2		○						2			
システム生産加工学	2		○						2			
計算力学・演習	2	○							2			
知的システム工学特別講義	1	◎	◎						2			
卒業研究	8	◎	◎							12	12	
特別卒業研究	8	◎	◎						24			(注1)早期卒業科目
専門科目区分認定科目Ⅰ												選択必修科目の単位として個別に認定する (注2)
専門科目区分認定科目Ⅱ												選択科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅲ												選択必修科目の単位として個別に認定する (注2)
専門科目区分認定科目Ⅳ												選択科目の単位として個別に認定する(注2)
合計 必修				38	37							
合計 選択必修				21	23							
合計 選択				21	20							

（注1）特別卒業研究は学修細則第7条第3項に該当する場合のみ履修可

（注2）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

4 生命情報工学分野

① 基礎科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
線形代数Ⅰ	2	◎	2								
離散数学Ⅰ	2	◎	2								
解析Ⅰ	2	◎	2								
線形代数Ⅱ・同演習	2	◎	3								
解析Ⅱ・同演習	2	◎		3							
確率・統計	2	◎		2							
微分方程式	2	◎			2						
力学	2	◎	2								
電磁気学Ⅰ	2			2							
化学	2	◎		2							
生物学	2	◎		2							
情報工学基礎実験	1	◎		3							
プログラミング	3	◎	5								
情報工学概論Ⅰ	1	◎	2								
計算機システムⅠ	2	◎	2								
情報セキュリティ概論	1	◎	1								
情報工学概論Ⅱ	1	◎		2							
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4							
オートマトンと言語理論	2			2							
計算機システムⅡ	1	◎		1							
ネットワーク通信基礎	1	◎		1							
プログラム設計	2	◎			4						
基礎科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		35									
合計 選択必修		0									
合計 選択		4									

（注）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数								備考
	単位数	分野共通	1年		2年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2				2						
キャリア形成概論	2					2					
情報技術者倫理B	2	◎					2				
情報関連法規	2						2				
情報職業論	2						2				
産業組織論	2						2				
情報産業職業論	2							2			
アントレプレナーシップ入門	1							1			
アントレプレナーシップ演習	1							1			
インターンシップ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間40時間以上のものを対象とする。2、3年対象
長期インターンシップ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。2、3年対象
海外研修Ⅰ	1										(注)
海外研修Ⅱ	2										(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2										事前・事後教育を含む。企業での研修時間が60時間以上のものを対象とする。2、3年対象(注)
合計 必修		2									
合計 選択必修		0									
合計 選択		23									

（注）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択			授業時数								備考
	単位数	医用工学コース	環境生命工学コース	1年		2年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
生命化学基礎実験	2	◎	◎			6						
生命情報工学入門	1	◎	◎			2						
有機化学	2	◎	◎			2						
ケミカルバイオロジー	2	◎	◎			2						
生化学	2	◎	◎			2						
データベース	2	◎	◎				2					
ネットワークプログラミングB	2	◎	◎				4					
物理化学演習	2	◎	◎				4					
環境情報学	2		○				2					
応用数学B	2	○					2					
細胞生物学	2		○				2					
人工知能基礎	2	○					2					
バイオ統計・演習	2	○					4					
生物物理学	2		○				2					
コンピュータグラフィックスB	2	◎	◎					2				
ネットワーク演習	1	◎	◎					2				
バイオインフォマティクス	2	◎	◎					2				
バイオデータベース演習	1	◎	◎					2				
分子生物学	2	◎	◎					2				
生命情報工学実験Ⅰ	2	◎	◎					6				
生命情報工学実験Ⅱ	2	◎	◎					6				
バイオ人工知能	2	○						2				
バイオ環境計測分析	2		○					2				
数値計算B	2	○						2				
酵素工学	2		○					2				
脳情報工学	2	○						2				
人工知能論理	2							2				
現代物理基礎	2							2				
脳型システムB	2							2				
構造生物学	2		○					2				
ソフトマター	2		○					2				
グラフィックス演習	1	◎	◎						2			
数値計算演習	1	◎	◎						2			
生命情報工学プロジェクト研究	2	◎	◎						6			
生命情報工学専門概要	1	◎	◎						2			
生命情報工学実験Ⅲ	2	◎	◎						6			
システム生物学	2	○	○						2			
医用情報工学	2	○							2			
遺伝子工学	2		○						2			
環境微生物工学	2		○						2			
人工知能応用	2								2			
コンピューテーショナル・ゲノミクス	2	○							2			
創薬ケモインフォマティクス	2	○							2			
データ解析B	2								2			
バイオエンジニアリング	2	○	○						2			
卒業研究	8	◎	◎							12	12	
特別卒業研究	8	◎	◎						24			(注1)早期卒業科目
専門科目区分認定科目Ⅰ												選択必修科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅱ												選択科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅲ												選択必修科目の単位として個別に認定する(注2)
専門科目区分認定科目Ⅳ												選択科目の単位として個別に認定する(注2)
合計 必修		42	42									
合計 選択必修		22	22									
合計 選択		28	28									

（注1）特別卒業研究は学修細則第7条第3項に該当する場合のみ履修可

（注2）1、2、3年次の学生について、進級判定までに単位が与えられなかった場合は進級判定に当該単位は含められず、進級判定後に単位付与が認められる。
4年次の学生について、卒業判定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

別表第2（第5条関係）

Ⅰ　3年次編入学生の教養教育科目区分の履修方法（各学科共通）

3年次編入学生は，以下の教養教育科目区分の授業科目を履修することができる。
教養教育科目区分の授業科目の修得単位は，すべて選択科目として単位に加算される。

1　教養教育科目

①　人文社会系

区分	授業科目	単位			授業時数								備考
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
人文社会科目	哲学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	哲学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	教育学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	教育学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	一般言語学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	一般言語学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	文学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	文学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	歴史学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	歴史学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	地域研究Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	地域研究Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	地理学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	地理学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	法学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	法学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	日本国憲法Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	日本国憲法Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	経済学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	経済学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	経営学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	経営学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	社会学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	社会学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	政治学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	政治学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	職業と社会			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	心理学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	心理学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	健康スポーツ科学論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	スポーツ実技			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯
	科学技術と社会Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	科学技術と社会Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	家族と社会			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	環境学Ⅰ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	環境学Ⅱ			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	自己探求・アントレプレナーシップ入門			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	アイデア創出・思考法入門			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯

区分	授業科目	単位			授業時数								備考
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
グローバル教養科目	異文化間コミュニケーション論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	言語類型論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	西洋近現代史			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	東南アジア文化論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	心理適応論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	東アジア論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	国際関係論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	国際経済論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	国際経営論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	サスティナビリティ論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	日本近現代史			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	ＩＣＴと現代社会論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	日本社会論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	科学コミュニケーション論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	市民社会論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	現代健康論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
	ジェンダー論			1	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			戸・飯
人文社会系選択科目	西洋社会史			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸
	教育システム論			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	飯
	経営組織論			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸
	言語分析法			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	飯
	情報倫理			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	飯
	ゲーム理論			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	飯
	情報社会と教育			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	飯
	情報メディアとコミュニケーション			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	飯
	日本政治論			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	飯
	人文学と言語の地平			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸・飯
	事業創造・スタートアップ入門			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸・飯
	選択日本事情ＩＡ			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸
	選択日本事情ＩＢ			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸
	選択日本事情ⅡＡ			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸
	選択日本事情ⅡＢ			1			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	戸
	国際協働演習			1									戸・飯 適宜
計				71									

他キャンパスでの科目履修を希望する者は事前に届け出ること。

備考欄の戸、飯はそれぞれ戸畑キャンパス、飯塚キャンパスでの開講予定を表している。

年度ごとの開講キャンパスについては、時間割などで確認すること。

② 言語系

区分	授業科目	単位			授業時数								備考
		必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	前	後	
選択必修英語科目	英語 Ⅰ C			1	(2)								戸・飯
	英語 Ⅱ C			1	(2)								戸・飯
	英語 Ⅲ C			1		(2)							戸・飯
	英語 Ⅳ C			1		(2)							戸・飯
	英語 Ⅴ C			1		(2)	(2)						戸・飯
	英語 Ⅵ C			1		(2)	(2)	(2)					戸・飯
	英語 Ⅶ A			1			(2)	(2)	(2)	(2)			飯
	英語 Ⅶ B			1			(2)	(2)	(2)	(2)			飯
	英語 Ⅶ C			1			(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯
	英語 Ⅶ D			1			(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯
	英語 Ⅷ A			1				(2)	(2)	(2)			戸・飯
	英語 Ⅷ B			1				(2)	(2)	(2)			飯
	英語 Ⅷ D			1				(2)	(2)	(2)			戸・飯
	英語 Ⅸ A			1					(2)	(2)			戸・飯
	英語 Ⅸ B			1					(2)	(2)			飯
	英語 Ⅸ D			1					(2)	(2)			戸・飯
選択英語科目	選択英語 1T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)			TOEIC対策
	選択英語 2T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)			
	選択英語 3T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)			
	選択英語 4T			1	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)			
初修外国語	ドイツ語 Ⅰ			1	(2)	(2)							戸・飯
	ドイツ語 Ⅱ			1		(2)	(2)						戸・飯
	ドイツ語 Ⅲ			1			(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯
	ドイツ語 Ⅳ			1				(2)		(2)			戸
	中国語 Ⅰ			1	(2)	(2)							戸・飯
	中国語 Ⅱ			1		(2)	(2)						戸・飯
	中国語 Ⅲ			1			(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯
	中国語 Ⅳ			1				(2)		(2)			戸
	フランス語 Ⅰ			1	(2)	(2)							戸・飯
	フランス語 Ⅱ			1		(2)	(2)						戸・飯
	フランス語 Ⅲ			1			(2)	(2)	(2)	(2)			戸・飯
	フランス語 Ⅳ			1				(2)		(2)			戸
	韓国語 Ⅰ			1	(2)								戸
	韓国語 Ⅱ			1		(2)							戸
	韓国語 Ⅲ			1			(2)		(2)				戸
	韓国語 Ⅳ			1				(2)		(2)			戸
計				36									

キャンパスにより開講される科目・学期は異なる場合があるので，注意すること。
備考欄の戸，飯はそれぞれ戸畑キャンパス，飯塚キャンパスでの開講予定を表している。
開講キャンパスについては，学期毎に掲示などで公表するので注意すること。
他キャンパスでの科目履修を希望する者は事前に所属学部教務係に申請し，許可を得ること。

英語：
＊選択必修英語科目名のⅠ～Ⅸは難易度，A～Dは技能の種別を表しており
技能種別の記号（A～D）は，以下の重点技能を表している。Ⅰ～Ⅵの技能はCのみであり，ⅦはA，B，C，D，Ⅷ以降はA，B，Dから選択できる。
A: Writing　　B: Reading
C: Comprehensive　　D: Speaking
＊クォーター科目の開講がない場合、単位読み替えに対応するセメスター科目を受講すること。
＊選択英語科目1T～4Tは難易度を表し，通常時間枠または集中講義として開講する。
＊選択必修英語科目Ⅶ以降，選択英語科目は大学院との共通科目である。
＊1年次は学期あたり再履修の科目を除き2科目まで，2年次以降は学期あたりⅥまでは再履修の科目を除き1科目のみ，Ⅶ以降は同レベルの2科目まで履修できる。
＊再履修の科目を除き，単位修得済科目より下位レベルの科目は履修できない。
初修外国語：
＊科目名のⅠ～Ⅳは難易度を表している。どの言語を選択する場合でも，原則として、Ⅰから順に履修すること。
＊1年次の必修2単位を未取得の者を除いて、2年生以上は、原則として1年次開講科目を履修できない。

③ 認定科目

授業科目	単位			授業時数								備考
	必修	選必	選択	1年		2年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
教養教育科目区分認定科目												

別表第2（第5条関係）

Ⅱ　3年次編入学生のための各学科別履修課程表

（注意）　3年次編入学生のための各学科別履修課程表中，授業年次を「3年・4年」としている科目は，1・2年生が対象となっているが，編入学生も履修することができる科目を示している。

1　知能情報工学科

①　基礎科目

授業科目	単位数	学科共通（単位　◎:必修・○:選択必修・空欄:選択）	授業時数						備考
			3年・4年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	
解析Ⅰ・同演習	2	○	3						
線形代数Ⅰ	2	◎	2						
離散数学Ⅰ	2	◎	2						
解析Ⅱ	2	○		2					
線形代数Ⅱ・同演習	2	○		3					
離散数学Ⅱ	2	○		2					
確率・統計	2	◎	2						
微分方程式	2	○	2						
力学Ⅰ	2	○	2						
電磁気学Ⅰ	2	○		2					
化学Ⅰ	2			2					
生物学Ⅰ	2			2					
情報工学基礎実験	1	◎		3					
プログラミング	3	◎	5						
計算機システムⅠ	2	◎	2						
情報工学概論	1	○	2						
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4					
計算機システムⅡ	2	○		2					
オートマトンと言語理論	2	○		2					
情報セキュリティ概論	1	○	1						
プログラム設計	2	◎	4						
ネットワーク通信基礎	2	○	2						
知能情報工学基礎実験	2	◎	4						
基礎科目区分認定科目Ⅰ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計　必修		18							
合計　選択必修		22							
合計　選択		4							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数						備考
	単位数	学科共通	3年・4年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2		2						
キャリア形成概論	2			2					
情報技術者倫理	2	◎			2				
情報関連法規	2				2				
情報職業論	2				2				
産業組織論	2				2				
情報産業職業論	2					2			
アントレプレナーシップ入門	1					1			
アントレプレナーシップ演習	1					1			
インターンシップ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が40時間以上のものを対象とする。
長期インターンシップ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。
海外研修Ⅰ	1								(注)
海外研修Ⅱ	2								(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が60時間以上のものを対象とする(注)
合計 必修		2							
合計 選択必修		0							
合計 選択		23							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位数	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択			授業時数						備考
		データ科学コース	人工知能コース	メディア情報学コース	3年・4年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	
論理回路	2	○	○	○	2						
アルゴリズム設計	2	○	○	○	2						
計算機アーキテクチャ	2	○	○	○	2						
応用数学	2	○	○	○		2					
人工知能基礎	2	○	○	○		2					
オブジェクト指向プログラミング	3	○	○	○		4					
データベース	2	○	○	○		2					
計算理論	2	○	○	○		2					
信号処理	2	○	○	○		2					
プログラミング言語処理系	2	○	○	○		2					
知能情報工学実験演習Ⅰ	2	○	○	○		4					
オペレーティングシステム	2	○	○	◎			2				
情報理論	2	◎	○	◎			2				
メディア処理	2		○	◎			2				
人工知能プログラミング	3	◎	◎	○			4				
自然言語処理	2	○	◎	◎			2				
人工知能論理	2	◎	◎				2				
最適化	2	◎	○	○			2				
ソフトウェア工学	2		○	○				2			
機械学習	2	○	○	○			2				
深層学習	2	○	○	○			2				
知能情報工学実験演習Ⅱ	2	◎	◎	◎			4				
脳型システム	2						2				
コンピュータグラフィックスA	2	○	○	◎				2			
コンピュータビジョンA	2	○	○	◎				2			
人工知能応用	2	○	◎	○				2			
データ解析	2	◎	○	○				2			
データ圧縮	2	◎	○					2			
文字列データ処理	2	○	○					2			
知能情報工学プロジェクト	2	◎	◎	◎				6			
知能情報工学特別講義	1							2			
卒業研究	8	◎	◎	◎					6	18	
専門科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		25	21	24							
合計 選択必修		39	47	38							
合計 選択		7	3	9							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

2 情報･通信工学科

① 基礎科目

授業科目	単位 ◎:必修･○:選択必修･空欄:選択		授業時数						備考
	単位数	学科共通	3年･4年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	
解析Ⅰ・同演習	2	◎	3						
線形代数Ⅰ	2	◎	2						
離散数学Ⅰ	2	◎	2						
解析Ⅱ	2	◎		2					
線形代数Ⅱ・同演習	2	◎		3					
離散数学Ⅱ	2	◎		2					
確率・統計	2	◎	2						
微分方程式	2	○	2						
力学Ⅰ	2	◎	2						
電磁気学Ⅰ	2	○		2					
化学Ⅰ	2			2					
生物学Ⅰ	2			2					
情報工学基礎実験	1	◎		3					
プログラミング	3	◎	5						
計算機システムⅠ	2	◎	2						
情報工学概論	1	◎	2						
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4					
計算機システムⅡ	2	◎		2					
オートマトンと言語理論	2	◎		2					
情報セキュリティ概論	1	◎	1						
プログラム設計	2	◎	4						
ネットワーク通信基礎	2	◎	2						
情報通信工学実験Ⅰ	2	◎	4						
基礎科目区分認定科目Ⅰ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		36							
合計 選択必修		4							
合計 選択		4							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目		単位数	学科共通	授業時数						備考
				3年・4年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	
知的財産概論		2		2						
キャリア形成概論		2			2					
情報技術者倫理		2	◎			2				
情報関連法規		2				2				
情報職業論		2				2				
産業組織論		2				2				
情報産業職業論		2					2			
アントレプレナーシップ入門		1					1			
アントレプレナーシップ演習		1					1			
インターンシップ		1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が40時間以上のものを対象とする。
長期インターンシップ		2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。
海外研修Ⅰ		1								(注)
海外研修Ⅱ		2								(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ		1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ		2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が60時間以上のものを対象とする(注)
合計	必修		2							
	選択必修		0							
	選択		23							

(注) 3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位数	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択 ソフトウェアデザインコース	情報通信ネットワークコース	コンピュータ工学コース	授業時数 3年・4年 前	3年・4年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
論理設計	2	◎	◎	◎	2						
計算機アーキテクチャ	2	◎	◎	◎	2						
アルゴリズム設計	2	○	○	○	2						
情報通信工学実験Ⅱ	2	◎	◎	◎		4					
ネットワークアーキテクチャ	2	◎	◎	◎		2					
データベース	2	◎	○	○		2					
電気回路	2		◎	◎		2					
オブジェクト指向プログラミング	3	○	○	○		4					
ディジタル信号処理	2		◎	○		2					
プログラミング言語処理系	2	○				2					
応用数学	2					2					
情報通信工学実験Ⅲ	2	◎	◎	◎			4				
オペレーティングシステム	2	◎	○	◎			2				
ソフトウェア工学	2	◎		○				2			
情報理論	2	◎	◎	◎			2				
通信理論	2		◎				2				
ネットワークプログラミング	2	○	○				2				
信号処理回路	2		○	◎			2				
信号処理システム	2		○	○			2				
最適化	2			○			2				
脳型システム	2						2				
情報通信工学プロジェクト研究	4	◎	◎	◎				8			
並列・分散システム	2	○	○	○				2			
ソフトウェア設計演習	3	○					4				
システムアーキテクチャ	2	○						2			
組込みプログラミング	2	○	○	○				2			
プロジェクトマネジメント	2	○						2			
デジタルコンテンツ	2		○					2			
集積化システム設計	2			○				2			
半導体情報工学	2							2			
情報セキュリティ	2	○	○	○				2			
集積化システム設計演習	1								2		
ディジタルシステム設計	2								2		
卒業研究	8	◎	◎	◎					12	12	
専門科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		30	30	30							
合計 選択必修		22	23	23							
合計 選択		25	24	24							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

3 知的システム工学科

① 基礎科目

授業科目	単位数	学科共通	授業時数 3年・4年 前	3年・4年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択								
解析Ⅰ・同演習	2	◎	3						
線形代数Ⅰ	2	◎	2						
離散数学Ⅰ	2	◎	2						
解析Ⅱ	2	◎		2					
線形代数Ⅱ・同演習	2	◎		3					
離散数学Ⅱ	2	○		2					
確率・統計	2	◎	2						
微分方程式	2	◎	2						
力学Ⅰ	2	◎	2						
電磁気学Ⅰ	2	◎		2					
化学Ⅰ	2	○		2					
生物学Ⅰ	2	○		2					
情報工学基礎実験	1	◎		3					
化学Ⅱ	2		2						
生物学Ⅱ	2		2						
プログラミング	3	◎	5						
計算機システムⅠ	2	◎	2						
情報工学概論	1	◎	2						
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4					
計算機システムⅡ	2	◎		2					
オートマトンと言語理論	2	○		2					
情報セキュリティ概論	1	◎	1						
プログラム設計	2	○	4						
ネットワーク通信基礎	2	○	2						
知的システム工学実験演習Ⅰ	1	◎	3						
基礎科目区分認定科目Ⅰ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		31							
合計 選択必修		12							
合計 選択		4							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数						備考
	単位数	学科共通	3年・4年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2		2						
キャリア形成概論	2			2					
情報技術者倫理	2	◎			2				
情報関連法規	2				2				
情報職業論	2				2				
産業組織論	2				2				
情報産業職業論	2					2			
アントレプレナーシップ入門	1					1			
アントレプレナーシップ演習	1					1			
インターンシップ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が40時間以上のものを対象とする。
長期インターンシップ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。
海外研修Ⅰ	1								(注)
海外研修Ⅱ	2								(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が60時間以上のものを対象とする(注)
合計 必修		2							
合計 選択必修		0							
合計 選択		23							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択				授業時数						備考
	単位数	ロボティクスコース	システム制御コース	先進機械コース	3年・4年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	
電気回路Ⅰ	2	◎	○		2						
ロボティクス基礎	2	◎			2						
システム制御基礎	2		◎		2						
機械システム基礎	1			◎	3						
熱力学	2			○	2						
構造システムの基礎Ⅰ	2	○	○	◎	2						
知的システム工学実験演習Ⅱ	1	◎	◎	◎		3					
応用数学	2	○	○	○		2					
ダイナミクス	2	◎	◎	◎		2					
構造システムの基礎Ⅱ	2			◎		2					
信号処理	2	○	○			2					
組込システム	2	◎	◎	◎		2					
数値計算	2	○	○	○		2					
画像工学Ⅰ	2	◎	◎	◎		2					
現代制御論	2	○	◎			2					
知的システム工学実験演習Ⅲ	1	◎	◎	◎			3				
古典制御論	2	◎	◎	◎			2				
流体システム	2	○	○	◎			2				
ロボティクス応用	2	◎					2				
システム制御応用	2		◎				2				
システム制御コンピューティング	2	○	◎				2				
応力解析の基礎	2			○			2				
デザイン基礎	1			◎			3				
マイクロシステム	2	◎	◎	◎			2				
画像工学Ⅱ	2	◎	○				2				
流動システム	2			○			2				
システムデザイン実践演習	1			◎			3				
現代物理基礎	2						2				
脳型システム	2						2				
知的システム工学実験演習Ⅳ	1	◎	◎	◎				3			
パターン解析	2	◎	○					2			
サーモダイナミックス	2			○				2			
機械システム演習	1			○				3			
システム同定	2							2			
計算力学の基礎	2	○	○					2			
計算熱流体工学	2							2			
システム計測	2	○	○	○				2			
システム生産加工学	2	○	○	◎				2			
ロボット運動解析学	2	◎	○					2			
システム最適論	2	○	○					2			
コントロール	2	◎	○					2			
計算力学・演習	2			○				4			
メカトロ材料学	2			○				2			

授業科目		単位数	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択			授業時数						備考
			ロボティクスコース	システム制御コース	先進機械コース	3年・4年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	
メカノシステム		2			○				2			
知的システム工学特別講義		1	○	○	○				2			
卒業研究		8	◎	◎	◎					12	12	
専門科目区分認定科目Ⅰ												選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅱ												選択科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅲ												選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅳ												選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計	必修		35	29	32							
	選択必修		23	29	22							
	選択		32	32	36							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

4 物理情報工学科

① 基礎科目

授業科目	単位数	学科共通 単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択	授業時数 3年・4年 前	3年・4年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	備考
解析Ⅰ・同演習	2	◎	3						
線形代数Ⅰ	2	◎	2						
離散数学Ⅰ	2	○	2						
解析Ⅱ	2	○		2					
線形代数Ⅱ・同演習	2	○		3					
離散数学Ⅱ	2			2					
確率・統計	2	◎	2						
微分方程式	2	◎	2						
力学Ⅰ	2	◎	2						
電磁気学Ⅰ	2	◎		2					
化学Ⅰ	2	○		2					
生物学Ⅰ	2	○		2					
情報工学基礎実験	1	◎		3					
化学Ⅱ	2		2						
生物学Ⅱ	2		2						
プログラミング	3	◎	5						
計算機システムⅠ	2	○	2						
情報工学概論	1	◎	2						
データ構造とアルゴリズム	2	◎		4					
計算機システムⅡ	2	○		2					
オートマトンと言語理論	2			2					
情報セキュリティ概論	1	◎	1						
プログラム設計	2	◎	4						
ネットワーク通信基礎	2	◎	2						
物理情報工学実験Ⅰ	2	◎	4						
化学実験	2		6						
基礎科目区分認定科目Ⅰ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		26							
合計 選択必修		14							
合計 選択		10							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数						備考
	単位数	学科共通	3年・4年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2		2						
キャリア形成概論	2			2					
情報技術者倫理	2	◎			2				
情報関連法規	2				2				
情報職業論	2				2				
産業組織論	2				2				
情報産業職業論	2					2			
アントレプレナーシップ入門	1					1			
アントレプレナーシップ演習	1					1			
インターンシップ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が40時間以上のものを対象とする。
長期インターンシップ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。
海外研修Ⅰ	1								(注)
海外研修Ⅱ	2								(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が360時間以上のものを対象とする(注)
合計 必修		2							
合計 選択必修		0							
合計 選択		23							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択			授業時数						備考
	単位数	電子物理工学コース	生物物理工学コース	3年・4年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	
電気システム回路Ⅰ	2	◎	○	2						
熱力学	2	◎	○	2						
物理数学	2	◎	◎	2						
応用数学	2	○	○		2					
電磁気学Ⅱ	2	◎	○		2					
量子力学	2	◎	○		2					
連続体物理学	2	○	○		2					
ネットワークプログラミングP	2	○	◎		4					
電気システム回路Ⅱ	2	○	○		2					
光学・波動	2	◎	○		2					
生物物理学	2		◎		2					
データベース	2		◎		2					
物理情報工学実験Ⅱ	2	○	○		4					
物理化学演習	2		○		4					
電子物理情報実験	2	◎				6				
生物物理情報実験	2		◎			6				
統計力学	2	◎	○			2				
固体物理学	2	◎	○			2				
電子情報回路	2	◎	○			2				
構造生物学	2		◎			2				
コンピュータグラフィックスP	2	○	◎			2				
組込システム	2						2			
ネットワーク演習	1	○	○			2				
バイオデータベース演習	1	○	○			2				
バイオ情報計測分析	2					2				
人工知能論理	2					2				
脳型システム	2					2				
半導体情報工学	2	○					2			
光情報エレクトロニクス	2	○					2			
電子情報材料工学	2	○					2			
医用分子シミュレーション	2		○				2			
ソフトマター物理学	2		○				2			
数値計算演習	1		○				2			
グラフィックス演習	1		◎				2			
集積化システム設計	2	○					2			
信号処理P	2	○					2			
システムバイオロジー	2		○				2			
コンピュテーショナル・ゲノミクス	2		○				2			
物理情報セミナー	2	◎	◎				6			
人工知能応用	2						2			
卒業研究	8	◎	◎					12	12	
専門科目区分認定科目Ⅰ										選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅱ										選択科目の単位として個別に認定する(注)

授業科目		単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択			授業時数						備考
		単位数	電子物理工学コース	生物物理工学コース	3年・4年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	
専門科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計	必修		30	25							
	選択必修		24	37							
	選択		30	22							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

5 生命化学情報工学科

① 基礎科目

授業科目	単位数	学科共通 (単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択)	授業時数						備考
			3年・4年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	
解析Ⅰ・同演習	2	◎	3						
線形代数Ⅰ	2	◎	2						
離散数学Ⅰ	2	○	2						
解析Ⅱ	2	○		2					
線形代数Ⅱ・同演習	2	○		3					
離散数学Ⅱ	2	○		2					
確率・統計	2	○	2						
微分方程式	2	○	2						
力学Ⅰ	2	○	2						
電磁気学Ⅰ	2	○		2					
化学Ⅰ	2	◎		2					
生物学Ⅰ	2	◎		2					
情報工学基礎実験	1	◎		3					
化学Ⅱ	2	○	2						
生物学Ⅱ	2	○	2						
プログラミング	3	◎	5						
計算機システムⅠ	2	◎	2						
情報工学概論	1	◎	2						
データ構造とアルゴリズム	2	○		4					
計算機システムⅡ	2	○		2					
オートマトンと言語理論	2	○		2					
情報セキュリティ概論	1	○	1						
プログラム設計	2	○	4						
ネットワーク通信基礎	2	○	2						
化学実験	2	◎	6						
基礎科目区分認定科目Ⅰ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅱ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅲ									選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
基礎科目区分認定科目Ⅳ									選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計 必修		17							
合計 選択必修		31							
合計 選択		0							

(注) 3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

② 情報技術者科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数						備考
	単位数	学科共通	3年・4年		3年		4年		
			前	後	前	後	前	後	
知的財産概論	2		2						
キャリア形成概論	2			2					
情報技術者倫理	2	◎			2				
情報関連法規	2				2				
情報職業論	2				2				
産業組織論	2				2				
情報産業職業論	2					2			
アントレプレナーシップ入門	1					1			
アントレプレナーシップ演習	1					1			
インターンシップ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が40時間以上のものを対象とする。
長期インターンシップ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が80時間以上のものを対象とする。
海外研修Ⅰ	1								(注)
海外研修Ⅱ	2								(注)
海外インターンシップ実習Ⅰ	1								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が30時間以上のものを対象とする(注)
海外インターンシップ実習Ⅱ	2								事前・事後教育を含む。企業での研修時間が360時間以上のものを対象とする(注)
合計 必修		2							
合計 選択必修		0							
合計 選択		23							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

③ 専門科目

授業科目	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択			授業時数						備考
	単位数	分子生命工学コース	医用生命工学コース	3年・4年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	
生命化学情報工学入門	1	◎	◎	2						
有機化学	2	○	○	2						
ケミカルバイオロジー	2	○	○	2						
生化学	2	○	○	2						
データベース	2	○	○		2					
ネットワークプログラミングP	2	○	○		4					
物理化学演習	2	○	○		4					
環境情報学	2	○			2					
応用数学	2	○	○		2					
細胞生物学	2	○	○		2					
人工知能基礎	2		○		2					
生物有機化学	2	○			2					
バイオ統計・演習	2		○		4					
生物物理学	2				2					
コンピュータグラフィックスP	2	○	○			2				
ネットワーク演習	1	◎	◎			2				
遺伝情報科学	2	◎	◎			2				
バイオデータベース演習	1	◎	◎			2				
分子生物学	2	◎	◎			2				
生命化学情報工学実験Ⅰ	2	◎	◎			6				
生命化学情報工学実験Ⅱ	2	◎	◎			6				
人工知能B	2		○			2				
バイオ情報計測分析	2	○				2				
数値計算	2		○			2				
酵素工学	2	○				2				
脳情報工学	2					2				
人工知能論理	2					2				
現代物理基礎	2					2				
脳型システム	2					2				
グラフィックス演習	1	◎	◎				2			
数値計算演習	1	◎	◎				2			
生命化学情報工学プロジェクト研究	2	◎	◎				6			
生命化学情報工学専門概要	1	◎	◎				2			
生命化学情報工学実験Ⅲ	2	◎	◎				6			
システムバイオロジー	2	○	○				2			
医用情報工学	2		○				2			
医用分子シミュレーション	2		○				2			
遺伝子工学	2	○					2			
マイクロバイオーム情報工学	2	○					2			
人工知能応用	2						2			
コンピューテーショナル・ゲノミクス	2						2			
創薬ケモインフォマティクス	2						2			
データ解析	2						2			

授業科目		単位数	単位 ◎:必修・○:選択必修・空欄:選択		授業時数						備考
			分子生命工学コース	医用生命工学コース	3年・4年		3年		4年		
					前	後	前	後	前	後	
ソフトマター物理学		2						2			
卒業研究		8	◎	◎					12	12	
専門科目区分認定科目Ⅰ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅱ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅲ											選択必修科目の単位として個別に認定する(注)
専門科目区分認定科目Ⅳ											選択科目の単位として個別に認定する(注)
合計	必修		26	26							
	選択必修		32	32							
	選択		32	32							

（注）3年次の学生について，進級査定までに単位が与えられなかった場合は進級査定に当該単位は含められず，進級査定後に単位付与が認められる。4年次の学生について，卒業査定までに単位が与えられた場合のみ単位付与が認められる。

別表第3（第7条関係）

Ⅰ　教養教育科目の卒業要件単位（学部共通）

教養教育科目のうち「人文社会科目」「グローバル教養科目」「英語科目」の合計18単位を卒業要件単位とする。
「教養教育選択科目」については10単位までを卒業要件単位に加算できる。

科目区分	単位区分	卒業要件単位		備考
人文社会科目	選択必修科目	7単位		左の単位数を超過して修得しても卒業要件には含まれない
グローバル教養科目	必修科目	1単位		
	選択必修科目	2単位	左に加え2単位	左の単位数を超過して修得しても卒業要件には含まれない
英語科目	選択必修科目	2単位		
	必修科目	4単位		
教養教育選択科目	選択科目	10単位まで認める		左の単位数を超過して修得しても卒業要件には含まれない

Ⅱ　各分野・コース別の卒業要件単位

1　知能情報工学分野

○データサイエンス・AIコース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ（学部共通）に定める
基礎科目	必修科目	31単位
	選択必修科目	2単位以上
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	29単位
	選択必修科目	16単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○AI・メディア情報学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ（学部共通）に定める
基礎科目	必修科目	31単位
	選択必修科目	2単位以上
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	41単位
	選択必修科目	4単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○ソフトウェア情報学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ（学部共通）に定める
基礎科目	必修科目	31単位
	選択必修科目	2単位以上
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	32単位
	選択必修科目	13単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

2 電子情報通信工学分野

○情報ネットワークコース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ(学部共通)に定める
基礎科目	必修科目	33単位
	選択必修科目	
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	32単位
	選択必修科目	16単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○情報エレクトロニクスコース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ(学部共通)に定める
基礎科目	必修科目	33単位
	選択必修科目	
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	32単位
	選択必修科目	16単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

3 知的システム工学分野

○ロボティクス・システム制御コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ(学部共通)に定める
基礎科目	必修科目	33単位
	選択必修科目	
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	38単位
	選択必修科目	12単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○システムデザインコース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ(学部共通)に定める
基礎科目	必修科目	33単位
	選択必修科目	
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	37単位
	選択必修科目	13単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

4 生命情報工学分野

○医用工学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ(学部共通)に定める
基礎科目	必修科目	35単位
	選択必修科目	
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	42単位
	選択必修科目	8単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○環境生命工学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		別表3のⅠ(学部共通)に定める
基礎科目	必修科目	35単位
	選択必修科目	
情報技術者科目	必修科目	2単位
専門科目	必修科目	42単位
	選択必修科目	8単位以上
合計		上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

別表第4(第7条関係)

3年次編入学生の各学科別卒業要件単位

1 知能情報工学科

○データ科学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて18単位
	選択必修科目	認定単位を含めて6単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて25単位
	選択必修科目	認定単位を含めて23単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○人工知能コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて18単位
	選択必修科目	認定単位を含めて6単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて21単位
	選択必修科目	認定単位を含めて27単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○メディア情報学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて18単位
	選択必修科目	認定単位を含めて6単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて24単位
	選択必修科目	認定単位を含めて24単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

2 情報・通信工学科

○ソフトウェアデザインコース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて36単位
	選択必修科目	認定単位を含めて2単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて30単位
	選択必修科目	認定単位を含めて10単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○情報通信ネットワークコース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて36単位
	選択必修科目	認定単位を含めて2単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて30単位
	選択必修科目	認定単位を含めて10単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○コンピュータ工学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて36単位
	選択必修科目	認定単位を含めて2単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて30単位
	選択必修科目	認定単位を含めて10単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

3 知的システム工学科

○ロボティクスコース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて31単位
	選択必修科目	認定単位を含めて8単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて35単位
	選択必修科目	認定単位を含めて12単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○システム制御コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて31単位
	選択必修科目	認定単位を含めて8単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて29単位
	選択必修科目	認定単位を含めて18単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○先進機械コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて31単位
	選択必修科目	認定単位を含めて8単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて32単位
	選択必修科目	認定単位を含めて15単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

4 物理情報工学科

○電子物理工学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて26単位
	選択必修科目	認定単位を含めて10単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて30単位
	選択必修科目	認定単位を含めて12単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○生物物理工学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて26単位
	選択必修科目	認定単位を含めて10単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて25単位
	選択必修科目	認定単位を含めて17単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

5 生命化学情報工学科

○分子生命工学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて17単位
	選択必修科目	認定単位を含めて12単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて26単位
	選択必修科目	認定単位を含めて20単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

○医用生命工学コース

科目区分	単位区分	卒業要件単位
教養教育科目		認定単位を含めて20単位とし，28単位までを卒業要件単位として認める。
基礎科目	必修科目	認定単位を含めて17単位
	選択必修科目	認定単位を含めて12単位以上
情報技術者科目	必修科目	認定単位を含めて2単位
専門科目	必修科目	認定単位を含めて26単位
	選択必修科目	認定単位を含めて20単位以上
合計		認定単位を含めて，上記の単位及び基礎科目・情報技術者科目・専門科目区分選択科目の単位を合計して124単位以上

別表第5（第8条関係）

Ⅰ　各年次への進級要件

2　年　次　進　級　要　件	卒業要件単位に加算される単位を30単位以上修得すること
3　年　次　進　級　要　件	卒業要件単位に加算される単位を68単位以上修得すること
4　年　次　進　級　要　件	卒業要件単位に加算される単位を108単位以上修得し，さらに，各コースが各科目区分ごとに定める別表Ⅱの要件単位を修得すること

Ⅱ　各科目区分ごとの4年次進級要件

		修得すべき単位数又は授業科目	
知能情報工学分野	データサイエンス・AIコース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の実験・演習科目，特別講義（知能情報工学実験演習Ⅱ，知能情報工学プロジェクト，知能情報工学特別講義）
	AI・メディア情報学コース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の実験・演習科目，特別講義（知能情報工学実験演習Ⅱ，知能情報工学プロジェクト，知能情報工学特別講義）
	ソフトウェア情報学コース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の実験・演習科目，特別講義（知能情報工学実験演習Ⅱ，知能情報工学プロジェクト，知能情報工学特別講義）
電子情報通信工学分野	情報ネットワークコース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の実験・演習科目（電子情報通信実験Ⅲ，電子情報通信実験Ⅳ）
	情報エレクトロニクスコース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の実験・演習科目（電子情報通信実験Ⅲ，電子情報通信実験Ⅳ）

知的システム工学分野	ロボティクス・システム制御コース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の知的システム工学実験演習Ⅱ，知的システム工学実験演習Ⅲを修得済みであること ・選択必修科目10単位以上
	システムデザインコース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の知的システム工学実験演習Ⅱ，知的システム工学実験演習Ⅲを修得済みであること ・選択必修科目10単位以上
生命情報工学分野	医用工学コース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の実験・演習科目（ネットワーク演習，バイオデータベース演習，生命情報工学実験Ⅰ，生命情報工学実験Ⅱ，数値計算演習，生命情報工学専門概要，生命情報工学実験Ⅲ）
	環境生命工学コース	教養教育科目	・必修科目全て ・選択必修科目11単位以上
		基礎科目	必修科目全て
		情報技術者科目	
		専門科目	・2年次までの必修科目全て ・3年次の実験・演習科目（ネットワーク演習，バイオデータベース演習，生命情報工学実験Ⅰ，生命情報工学実験Ⅱ，数値計算演習，生命情報工学専門概要，生命情報工学実験Ⅲ）

別表第6（第8条関係）
3年次編入学生の各学科別4年次進級要件

		修得すべき単位数又は授業科目
知能情報工学科	データ科学コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，3年次の必修科目から知能情報工学実験演習IIおよび知能情報工学プロジェクトを含み12単位以上修得済みであること。
	人工知能コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，3年次の必修科目から知能情報工学実験演習IIおよび知能情報工学プロジェクトを含み9単位以上修得済みであること，および3年次の選択必修科目から8単位以上修得済みであること。
	メディア情報学コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，3年次の必修科目から知能情報工学実験演習IIおよび知能情報工学プロジェクトを含み12単位以上修得済みであること。
情報・通信工学科	ソフトウェアデザインコース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，3年次までの必修の実験・演習科目（情報工学基礎実験，情報通信工学実験I，情報通信工学実験II，情報通信工学実験III，情報通信工学プロジェクト研究）の単位を全て含むこと。
	情報通信ネットワークコース	
	コンピュータ工学コース	
知的システム工学科	ロボティクスコース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，3年次の必修科目から知的システム工学実験演習Ⅲ，および知的システム工学実験演習Ⅳを含み12単位以上修得済みであること。
	システム制御コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，3年次の必修科目から知的システム工学実験演習Ⅲ，および知的システム工学実験演習Ⅳを含み6単位以上修得済みであること。および3年次の選択必修科目から6単位以上修得済みであること。
	先進機械コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，3年次の必修科目から知的システム工学実験演習Ⅲ，知的システム工学実験演習Ⅳ，デザイン基礎およびシステムデザイン実践演習を含み8単位以上修得済みであること。および3年次の選択必修科目から4単位以上修得済みであること。
物理情報工学科	電子物理工学コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし、3年次までの必修の実験・演習科目（情報工学基礎実験、物理情報工学実験Ⅰ、電子物理情報実験、物理情報セミナー）の単位を全て修得済みであること。
	生物物理工学コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし、3年次までの必修の実験・演習科目（情報工学基礎実験、物理情報工学実験I、生物物理情報実験、物理情報セミナー）の単位を全て修得済みであること。
生命化学情報工学科	分子生命工学コース	認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計108単位以上修得すること。ただし，生命化学情報工学専門概要を修得済みであること。
	医用生命工学コース	

別表第7（第18条関係）

教職課程

取得できる免許状の種類及び免許教科

分　野	免許状の種類	免許教科
知能情報工学分野	高等学校教諭　一種免許状	情報
電子情報通信工学分野		
知的システム工学分野		
生命情報工学分野		

免許状を取得するために必要な最低修得単位数

免許状の種類		最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目（左記の最低修得単位数を超えて履修した教科及び教科の指導法に関する科目又は教育の基礎的理解に関する科目等）	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目
高等学校教諭	一種免許状（情報）	24単位	23単位	12単位	8単位

教育の基礎的理解に関する科目等（全分野共通）

区　分	授業科目	単位数	授業時数								備考
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教育の基礎的理解に関する科目	○教育原理	2		2							
	○教職論	2	2								
	○教育制度論	2			2						
	○学校安全管理論	1				1					
	○教育心理学	2	2								
	○特別支援教育論	1						1			
	○教育課程論	1			1						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○総合的な探究の時間の指導法	1						1			
	○特別活動の指導法	1			1						
	○教育方法	1					1				
	○生徒指導	1				1					
	○教育相談	2					2				
	○進路指導	1						1			
	○教育とＩＣＴ活用	1					1				
教育実践に関する科目	○教育実習	3							6		
	○教職実践演習（高）	2								2	

注)①　上記の表中で○印の付された授業科目は，必ず修得しなければならない。

②　各科目について，教育の基礎的理解に関する科目等を16単位以上，教科及び教科の指導法に関する科目より教科教育法Ⅰ及び教科教育法Ⅱを含み大学が独自に設定する科目と併せて24単位以上，修得した者でなければ教育実習は履修できない。

③　教育実習の3単位は，実習校での「教育実習」と，学部で開く「事前・事後指導」との二つの履修から成る。教育実習に行くためには，実習に行く前年度の3月に集中で開講される「事前指導」を受講しておかなければならない。

④　教育実習に行くためには，別途に開講する「人権教育」を受講しておかなければならない。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 （全分野共通）

第66条の6に定める科目	開設授業科目		備考
	授業科目	単位数	
日本国憲法	日本国憲法A	1	
	日本国憲法B	1	
体育	スポーツ実技	1	
	健康スポーツ科学論	1	
外国語コミュニケーション	英語A 1	1	
	英語A 2	1	
情報機器の操作	プログラミング	3	

注）上記表中の授業科目は，必ず修得しなければならない。

大学が独自に設定する科目（全分野共通）

大学が独自に設定する科目	単位数	授業時数								最低修得単位数
		1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
大学が独自に設定する科目の最低修得単位数	12									「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を超えて履修した単位又は「教育の基礎的理解に関する科目等」の最低修得単位数を超えて履修した単位について12単位以上修得

1 知能情報工学分野

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関する科目	授業科目	単位数	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
情報社会(職業に関する内容を含む。)・情報倫理	ＩＣＴと現代社会論	1	(1)	(1)	(1)	(1)					
	＊情報社会と教育	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位 ※いずれか1科目選択必修
	＊情報倫理	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		
	○情報職業論	2					2				
	産業組織論	2					2				
コンピュータ・情報処理	○計算機システムⅠ	2	2								1単位
	○データ構造とアルゴリズム	2		4							
	○計算機システムⅡ	1		1							
	オートマトンと言語理論	2		2							
	人工知能基礎	2				2					
	オブジェクト指向プログラミング	3				4					
	プログラミング言語処理系	2				2					
	自然言語処理	2					2				
	人工知能論理	2					2				
情報システム	○プログラム設計	2			4						1単位
	データベース	2				2					
	ソフトウェア工学	2			2						
	オペレーティングシステム	2					2				
情報通信ネットワーク	○ネットワーク通信基礎	1		1							1単位
	情報理論A	2					2				
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○情報メディアとコミュニケーション	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位
	メディア処理	2					2				
	コンピュータグラフィックスA	2						2			
	人工知能応用	2						2			
	データ圧縮	2						2			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○教科教育法(情報)Ⅰ	2					2				4単位
	○教科教育法(情報)Ⅱ	2						2			
合計											24単位

注) ①上記表中で○印の付された授業科目は，必ず修得しなければならない。

②上記表中の＊印の付された授業科目の内，いずれか1科目選択必修。

③上記表中の下線の付された授業科目は，教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

2 電子情報通信工学分野

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関する科目	授業科目	単位数	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
情報社会(職業に関する内容を含む。)・情報倫理	ＩＣＴと現代社会論	1	(1)	(1)	(1)	(1)					
	＊情報社会と教育	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位 ※いずれか1科目選択必修
	＊情報倫理	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		
	○情報職業論	2					2				
	産業組織論	2					2				
コンピュータ・情報処理	○計算機システムⅠ	2	2								1単位
	○データ構造とアルゴリズム	2		4							
	○計算機システムⅡ	1		1							
	オートマトンと言語理論	2		2							
	アルゴリズム設計E	2			2						
	論理設計	2			2						
情報システム	○プログラム設計	2			4						1単位
	ディジタル信号処理	2			2						
	ディジタルシステム設計	2						2			
	ネットワークセキュリティ	2						2			
情報通信ネットワーク	○ネットワーク通信基礎	1		1							1単位
	ネットワークアーキテクチャ	2				2					
	情報理論E	2				2					
	ネットワークプログラミングE	2				2					
	通信理論	2					2				
	情報セキュリティ	2					2				
	通信計算量理論	2					2				
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○情報メディアとコミュニケーション	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位
	知的情報処理	2					2				
	ディジタルコンテンツ	2						2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○教科教育法(情報)Ⅰ	2					2				4単位
	○教科教育法(情報)Ⅱ	2						2			
合計											24単位

注) ①上記表中で○印の付された授業科目は，必ず修得しなければならない。
②上記表中の＊印の付された授業科目の内，いずれか1科目選択必修。
③上記表中の下線の付された授業科目は，教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

3 知的システム工学分野

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関する科目	授業科目	単位数	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
情報社会(職業に関する内容を含む。)・情報倫理	ＩＣＴと現代社会論	1	(1)	(1)	(1)	(1)					
	＊情報社会と教育	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位 ※いずれか1科目選択必修
	＊情報倫理	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		
	○情報職業論	2					2				
	産業組織論	2					2				
コンピュータ・情報処理	○計算機システムⅠ	2	2								1単位
	○データ構造とアルゴリズム	2		4							
	○計算機システムⅡ	1		1							
	オートマトンと言語理論	2		2							
	数値計算Ｓ	2			2						
	システム計測	2			2						
	現代制御論	2				2					
	古典制御論	2				2					
	システム制御コンピューティング	2					2				
	システム同定	2					2				
情報システム	○プログラム設計	2			4						1単位
	組込システム	2			2						
情報通信ネットワーク	○ネットワーク通信基礎	1		1							1単位
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○情報メディアとコミュニケーション	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位
	データ解析Ｓ	2			2						
	画像工学Ⅰ	2					2				
	人工知能・機械学習Ⅱ	2					2				
	画像工学Ⅱ	2						2			
	計算力学の基礎	2						2			
	計算力学・演習	2						2			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○教科教育法(情報)Ⅰ	2					2				4単位
	○教科教育法(情報)Ⅱ	2						2			
合計											24単位

注) ①上記表中で○印の付された授業科目は，必ず修得しなければならない。

②上記表中の＊印の付された授業科目の内，いずれか1科目選択必修。

③上記表中の下線の付された授業科目は，教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

4 生命情報工学分野

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関する科目	授業科目	単位数	授業時数								最低修得単位数
			1年		2年		3年		4年		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	高校1種
情報社会(職業に関する内容を含む。)・情報倫理	ＩＣＴと現代社会論	1	(1)	(1)	(1)	(1)					
	＊情報社会と教育	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位 ※いずれか1科目選択必修
	＊情報倫理	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		
	○情報職業論	2					2				
	産業組織論	2					2				
コンピュータ・情報処理	○計算機システムⅠ	2	2								1単位
	○データ構造とアルゴリズム	2		4							
	○計算機システムⅡ	1		1							
	オートマトンと言語理論	2		2							
	人工知能基礎	2				2					
	バイオインフォマティクス	2					2				
	バイオ人工知能	2					2				
	数値計算B	2					2				
	人工知能論理	2					2				
	コンピュテーショナル・ゲノミクス	2						2			
情報システム	○プログラム設計	2			4						1単位
	データベース	2				2					
	バイオデータベース演習	1					2				
情報通信ネットワーク	○ネットワーク通信基礎	1		1							1単位
	ネットワーク演習	1					2				
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○情報メディアとコミュニケーション	2			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		1単位
	コンピュータグラフィックスB	2					2				
	グラフィックス演習	1						2			
	数値計算演習	1						2			
	システム生物学	2						2			
	人工知能応用	2						2			
	創薬ケモインフォマティクス	2						2			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○教科教育法(情報)Ⅰ	2					2				4単位
	○教科教育法(情報)Ⅱ	2						2			
合計											24単位

注) ①上記表中で○印の付された授業科目は，必ず修得しなければならない。

②上記表中の＊印の付された授業科目の内，いずれか1科目選択必修。

③上記表中の下線の付された授業科目は，教育職員免許法施行規則に定める一般的包括的な内容を含む科目である。

２．修学上の注意事項について

１．教育課程について

(1) 情報工学部の教育課程は，教養教育科目，基礎科目，情報技術者科目及び専門科目の４つの科目区分により構成されています。

(2) 授業科目には，必修科目，選択必修科目及び選択科目の３つの単位区分があります。

必修科目は，卒業までに単位を修得する必要のある授業科目です。

選択必修科目は，科目区分ごとに設定された選択必修科目の中から選択して履修し，科目区分ごとに設定された要件単位以上の単位を卒業までに修得する必要のある授業科目です。

選択科目は，選択科目区分の中から選択して履修し，卒業・進級要件単位数を満たすよう修得する必要のある授業科目です。

(3) 学生は，教育課程を修了するためには，４年以上在学し（休学及び停学した期間を除く。），所属分野の履修課程表に従って授業科目を履修し，卒業要件に加算される単位を合計して124単位以上修得し，さらに，各科目区分に設定されている卒業要件単位以上の単位を修得しなければなりません。

(4) ３年次編入生が教育課程を修了するには，２年以上在学し（休学及び停学した期間を除く。），所属学科の履修課程に従って授業科目を履修し，認定単位を含めて卒業要件に加算される単位を合計して 124 単位以上修得し，さらに，各科目区分に設定されている卒業要件単位以上の単位を修得しなければなりません。

※３年次編入生は，以下文中の「分野」を「学科」に読み替えてください。

２．履修課程表について

(1) １年次から入学した学生は，所属分野の履修課程表に従って，各科目区分の授業科目を履修する必要があります。

(2) ３年次に編入した学生は，所属学科の３年次編入学生用の履修課程表に従って，各科目区分の授業科目を履修する必要があります。

(3) 学生は，履修課程表に定められている履修年次に従って各授業科目を履修する必要があります。

３．上級年次への進級について

(1) １年次から入学した学生は，１年次から２年次に進級するためには，１年以上在学し，卒業要件に加算される授業科目の単位を，合計して30単位以上修得する必要があります。

(2) １年次から入学した学生は，２年次から３年次に進級するためには，２年以上在学し，卒業要件に加算される授業科目の単位を，合計して68単位以上修得する必要があります。

(3) １年次から入学した学生は，３年次から４年次に進級するためには，３年以上在学し，卒業要件に加算される授業科目の単位を，合計して108単位以上修得し，さらに，各コースが各科目区分ごとに定める４年次進級要件以上の単位を修得する必要があります。

(4) ３年次に編入した学生は，４年次に進級するためには，３年次に１年以上在学し，３年次編入学生用の４年次進級要件以上の単位を修得する必要があります。

(5) 病気や留学などの正当なやむを得ない理由があり，かつ，教務委員会が学生にとって教育上有益であると認める場合は，進級の要件を満たしていない場合であっても上級年次への進級を許可することがあります。

４．指導教員について

(1) 学生は，教育課程の履修方法や授業科目の選択方法に関して，必要に応じ，指導教員による勉学上のアドバイスを求めることができます。

(2) 勉学上の目的を持って，上級年次の授業科目や所属分野の履修課程表にない授業科目（他分野科目）の履修を希望する学生には，履修方法や授業科目の選択方法等について指導教員に相談し，アドバイスを受けることを勧めます。

(3) 進級に必要な単位数を順調に修得することができない学生は，なるべく早い時期に（留年が確定する前に）指導教員を訪問し，今後の勉学の進め方や授業科目の選択方法等に関して，アドバイスを受けることを勧めます。

(4) 各学生を担当する指導教員の氏名は，教務システムの「マイInfo」＞「学生情報」＞「学生別設定」画面で確認することができます。

5．履修登録について

ア　授業計画（シラバス）

授業の概要・担当教員・到達目標・成績評価方法等は、教務システムの「シラバス」から確認してください。

イ 履修登録

(1) 学生は，各学期に履修しようとする授業科目について，その学期の定められた履修登録期間に履修登録を行う必要があり，履修登録をしていない授業科目は受講することができません。

なお，履修登録できる単位数の上限は，年間44単位（各学期22単位）です。しかし，集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目及び教育の基礎的理解に関する科目は，この上限に含まれません。

通年の授業科目については，前期の履修登録期間に履修登録を行う必要があります。

＜履修登録単位を制限することについて＞

大学での授業科目は，１単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成することが標準となっています。講義については 15時間の授業で１単位，演習や実習，外国語，体育実技については30時間の授業で１単位， 実験については45時間の授業で１単位としている科目が大部分です。例えば，１単位の外国語科目を履修する場合には，45時間から30時間を差し引いた残りの15時間は，授業時間外（教室外）の学修が必要となります。この教室外の学修は学生が自主的に行い，学力の充実をはからなければなりません。

授業時間外での学修時間を十分に確保して内容の濃い学修を進めることができるように，履修登録できる単位数の上限を年間44単位（各学期あたり22単位）に定めています。（集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目及び教育の基礎的理解に関する科目は，この上限に含みません。）

学生は，この制度の趣旨をよく理解し，授業時間外において，課題の遂行や授業の予習・復習の学修に努めてください。

(2) 複数クラスを開講する授業科目の場合等には，掲示，ガイダンス等を行って学生を振り分けることがあるので，担当教員の指示に従って履修登録を行ってください。

(3) 学生は，既に単位を修得した授業科目については，再度履修登録をすることはできません。

(4) 集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目については，授業科目ごとに掲示される履修登録期日までに所定の方法により，履修登録を行うことができます。

(5) やむを得ない正当な理由により，履修登録期間及び修正登録期間に履修登録をすることができなかった学生は，授業担当教員の許可を得た上で，「期間外履修登録カード」を教務係に提出することにより，履修登録を申請することができます。所属分野の教務委員により履修を許可された場合は，履修登録を行うことができます。

ウ　履修登録の修正・取消し

(1) 履修登録修正期間は，通常，授業開始の第１週目ごろに設定されます。

(2) 授業に出席した上で，履修する授業科目を変更することにした場合には，修正期間に登録科目の修正（登録科目の追加及び取り消し）を行ってください。

(3) 修正期間終了後に履修の取消しをすることにした場合は，取消し期間内に所定の方法により履修登録取消しを行ってください。

(4) 集中講義又はそれに準じる形態で実施される授業科目の場合には，授業科目ごとに掲示される履修登録取消し期日までは，履修登録の取消しを行うことができます。

(5) 正当な理由により，定められた期間内に履修の取消しをすることができなかった学生は，所属分野の教務委員及び授業担当教員の許可を得た上で「履修登録取消しカードを教務係に提出することにより， 履修登録の取消しを行うことができます。

(6) 出席調査等に用いられる「履修者名簿」は，学生の履修登録に基づき作成されます。履修者名簿を正確な名簿にするため，履修しない授業科目については，必ず履修登録の取消しを行ってください。

エ　他分野の授業科目の履修

(1) 所属分野の履修課程表に含まれない授業科目（他分野科目）の履修を希望する学生は，授業担当教員の許可を得た上で，履修登録期間内に「所属分野の履修課程表にない授業科目（他分野科目）履修願」を教務係に提出してください。

(2) 所属分野の教務委員及び授業担当教員により履修を許可された授業科目は，専門科目区分選択科目として取り扱われます。

オ　上級年次の授業科目の履修

(1) 原級留置（留年）がある２・３年次の学生が，自身の在籍する年次を超える履修年次の授業科目を希望する場合は，授業担当教員の許可を得た上で，履修登録期間内に「上級年次の授業科目の履修願」を教務係に提出してください。その後，所属分野の教務委員の許可により履修を許可された場合は，履修登録を行うことができます。ただし，選択必修科目及び選択科目については，すべての原級留置がないと仮定した年次を在籍年次とみなし，教務システム上で履修登録をすることができます。

(2) 原級留置（留年）がある１年次の学生が，自身の在籍する年次を超える履修年次の授業科目を希望する場合は，所属分野の教務委員の許可を得た上で，履修登録期間内に「上級年次の授業科目の履修願」を教務係に提出してください。

(3) 所属分野の教務委員は，上級年次の授業科目の履修が学生にとって教育上有益であり，また，履修を希望する理由が正当なものであると認める場合には，履修を許可します。

(4) 原級留置（留年）のない学生は，上級年次の授業科目は履修できません（一部科目（教養教育科目および大学院科目等）をのぞく）。履修課程表に定められている履修年次に従って各授業科目を履修する必要があります。

カ 他学部の授業科目の履修

(1) 他学部の授業科目の履修を希望する学生は，授業担当教員の許可を得た上で，履修登録期間内に「他学部の授業科目の履修願」を教務係に提出してください。その後，所属分野の教務委員の許可により履修を許可された場合は，履修登録を行うことができます。

(2) 履修を許可された他学部の授業科目の単位は，所属分野の教務委員の判断によりその授業科目の内容に応じた科目区分の選択科目の単位として，進級要件単位や卒業要件単位に加算されます。

キ 大学院の授業科目の履修

(1) ３年次以上の学生で大学院情報工学府の授業科目の履修を希望する学生は，所定の教員の許可を得た上で，履修登録期間内に「履修登録カード（大学院科目用）」教務係に提出してください。

(2) 履修を許可された大学院の授業科目の単位は，進級要件単位や卒業要件単位には加算されません。ただし，本学大学院情報工学府に進学する場合は，入学前既修得単位として申請することができます。

(3) 修得できる単位数は，卒業までに15単位までです。

６．授業アンケートについて

(1) 授業アンケートは，一部の科目を除いて，授業内容を改善する目的で行われます。

(2) 授業アンケートの実施時には，回答にご協力をお願いします。

７．試験について

ア 試験の実施について

(1) 成績評価のため，試験は，各学期の期末試験期間に実施します。ただし，授業科目によってはそれ以外の

時期に試験を行うこともあります。

(2) 各授業科目の試験実施の日時及び講義室等については，所定の掲示スペースにその都度掲示されます。

(3) 不正行為を防止するため，試験を受ける際には，机の上に学生証を提示しなければなりません。

イ 試験の結果について

(1) 試験の結果は，100 点満点で評価します。

(2) 試験の結果が 60 点以上あれば「合格」と判定され，試験の結果が当該授業科目の成績評価となります。

(3) 試験の結果が 0 ～ 59 点であれば，「不可」と判定されます。

(4) 試験の結果（合格又は不可）は，教務システムの「成績情報」に表示されます。

ウ 学期末・学年末試験で不可になった場合の措置について

(1) 再試験は，実施しません。

(2) ただし，授業科目の総授業時間数の 3 分の 2 以上の授業に出席して不可となった学生のうち，授業担当教員が必要と認めた場合に限って，試験その他の方法による確認の後，成績の修正が行われることがあります。

エ 試験における不正行為について

(1) 試験において不正行為のあった者に対しては，学修細則第 26 条に基づき，処分を受けることとなります。

(2) 厳しい処分を受けることになった場合，留年が確定することや，退学しなければならないこともあります。

不正行為を行わないよう学生相互で注意しあい，厳に慎むよう心がけましょう。

８．学力不振者の除籍について

(1) １・２ 年次の学生で，連続する２年間（休学期間を除く。）に学修細則第25条に定める単位数を修得していない者は，「学力不振で成業の見込のない者」と見なされ，学則第29条第１項第４号に定める除籍の対象者となります。

(2) 疾病若しくは負傷等，特別な理由により，上記の単位数を修得できなかった学生については，学修細則に基づき学部長が教務委員会に意見を求める場合があります。

９．学生に対する掲示及び事務連絡について

(1) 学生に対する公示，通知，呼び出し等は，あらかじめ指定した掲示スペースに掲示されます。
重要な掲示を見落として，自己に不利益な結果を招くことのないよう，掲示を注意して見るようにしてください。

(2) 学生に対する教員や事務担当者からの連絡には，主に電子メールや教務システム、Moodleのメッセージが使用されますので，各種通知を定期的に読む習慣を身につけてください。

(3) 教員や事務担当者から学生宛てに発信される電子メールは，「九工大メールアドレス」宛に送信されます。

※修学上の注意事項は，年度・学期ごとに変更となる可能性があります。常に最新の掲示・連絡を確認のうえ諸手続きを行ってください。

３．教育職員免許状取得マニュアル

１．教育職員免許状を取得するために

皆さんは、高等学校教諭一種免許状（情報）を取得することができます。そのためには、学生便覧をよく読み、以下のことを考えながら、履修を進めていく必要があります。

・教育職員免許状を取得するためには、各分野の卒業要件を満たすように単位を修得しながら、教職課程の履修課程表（学生便覧の学修細則別表７（第１８条関係）に記載）の単位も修得しなければなりません。

・卒業要件の必修科目と教職の必修科目は異なります。（教職の単位の中には卒業要件に含まれるものと含まれないものがあります。）

・教職課程の履修課程表（学生便覧の学修細則別表７（第１８条関係））の科目で、自分の分野の履修課程表にない科目は、進級／卒業要件に含まれませんが、教育職員免許状を取得するには必要な科目です。

・分野によっては、履修を制限する教職科目もあります。

・集中講義及び教育の基礎的理解に関する科目等以外の教職科目は、２２単位の履修制限の対象となります。履修制限に関しては、学修細則を参照してください。

・免許状を取得するために必要な法定最低修得単位数は、次のとおりです。（学修細則別表７（第１８条関係より））

免許状の種類		最低修得単位数　６７単位			
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目（左記の最低修得単位数を超えて履修した教科及び教科の指導法に関する科目又は教育の基礎的理解に関する科目等）	教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目
高等学校教諭	一種免許状（情報）	２４単位	２３単位	１２単位	８単位（＊）

（＊）教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目として必修科目を修得すると９単位になりますが，最低修得単位数（８単位）を超えて修得した単位（１単位）は「大学が独自に設定する科目」としては認められません。

・教育実習へ行くために必要な修得単位数は、次のとおりです。（学修細則別表７（第１８条関係より））

免許状の種類		４０単位以上	
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目及び大学が独自に設定する科目
高等学校教諭	一種免許状（情報）	１６単位以上	２４単位以上（教科教育法Ⅰ及びⅡを含む）

２．教育職員免許状を取得するまでの流れについて

教育職員免許状を取得するまでの大まかな流れは次のようになっています。

随時		・教育実習及び免許状を取得するために必要な科目を履修する。 ・卒業要件の必修科目が不可にならないように気をつける。 ※必修科目の再履修と教育職員免許状取得に必要な科目の時間割が重複し、必要な科目を修得できなかった場合、教育実習に行くことができなくなるので、必修科目は確実に修得しておくこと。 ・適宜、教職履修課程の学修について自己評価を行う。
３年次	４月	・教育実習申込説明会に出席する。
	５月	・４月の教育実習申込説明会で「教育実習申込用紙」を受け取り、自分で実習希望校へ連絡を入れ、受け入れや申込期間を担当教諭に確認し、必要事項を記載して教務係に提出する。
	６～７月	・５月に申し込みをした実習希望校への「内諾依頼書」を教務係から受け取る。 ※６月以前に教育実習校に来学が必要な場合は、教務係へ連絡する。

３年次	７～８月	・主に夏期休業中に実習希望校の教育実習担当教諭に連絡を取った上で、教育実習の「内諾依頼書」を持参し、面談に行く。 ・面談後「内諾依頼書」の回答を教務係へ提出する。 （実習希望校が大学宛に郵送する場合もあります。） ※高等専門学校での教育実習はできませんので注意してください。 ※やむを得ない理由で教育実習を辞退する時は、直ちに教務係へ申し出て、手続を取るとともに、実習予定校へ辞退する旨の連絡を必ず行うこと。
	１２月	・「事前指導（交流実習）」に必ず出席する。 ※履修しなかった場合は教育実習を行うことができない。
	３月頃	・集中講義「事前指導・人権教育」を履修する。 ※実施時期は変更される場合がある。 ※履修しなかった場合は教育実習を行うことができない。
		・４年生進級後に「教育実習」を履修できる単位を修得しているかを確認しておく。 （学生便覧の学修細則別表７参照） ・単位を修得できなかった場合や、進路変更・留年等により教育実習を辞退する場合は、速やかに教務係へ申し出て、内諾を得ていた実習予定校へ連絡する。
４年次	４月	・履修登録期間に「教育実習」を必ず履修登録する。 ・４月下旬の教育実習説明会に参加する。
	４～５月頃	・内諾を得ていた実習予定校より、正式な受入れ回答とともに教育実習期間の連絡があるので、それを確認して実習校との事前打合せを行う。 指導教員にも必ず報告をして、承諾を得ておく。
	５月～９月頃	・教育実習実施（２週間）。（中学校での実習は３週間が必要です。）
	９月頃	・教育職員免許状の一括申請の説明会に出席する。 一括申請の大学への申込みと、教職単位の修得状況の確認を行う。 ・履修登録期間に「教職実践演習（高）」を必ず履修登録する。
	１２月頃	・「事後指導（交流実習）」に出席する。 ※出席しなかった場合は、「教育実習」の評価を不可とする。 ・一括申請の申し込みをした学生は、福岡県教育委員会より教育職員免許状授与願が届くので、内容の確認と申込費用の徴収を行う。
	２月頃	・一括申請の際に不足単位があった学生は、再度単位の確認を行い、単位修得ができないことが判明したら、至急教務係へ連絡し、申請取り下げ手続きを行う。
	３月	・教育職員免許状交付 （３月下旬・卒業式当日に開催する教育職員免許状授与式にて配付予定）

３．編入学生、再入学生等（以下「編入学生等」とする。）に対する教職課程既修得単位の認定について

他の大学、短期大学、高等専門学校等から編入学等した学生で、教職課程を履修しようとする学生は、必ず、教務係において履修指導を受けてください。

○ 編入学生等には、編入学等する年次の学生の入学年度の教職履修課程表が適用されます（＊）。
＊令和６年度４月に編入学等により入学した学生については、教育職員免許法等改正に伴い、免許状取得に必要な科目が編入学等年次の学生の入学年度の教職履修課程表と異なります。免許状取得を希望する学生は、単位認定担当教員との面談時に相談してください。

○ 編入学生に対する教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目の個別認定について
教養教育科目区分の科目は、出身学校等における人文・社会・体育・語学系の修得科目の書類審査を行なったうえで、修得単位数の範囲内で「教養教育科目区分認定科目」とし、２０単位を上限に一括して単位認定を行いますが、教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める単位については、個別認定が可能です。（単位認定担当教員との面談時に相談してください。）

○ 大学及び短期大学を除く学校等からの編入学生等に対する教職課程の単位認定について
編入学生等（大学及び短期大学からの編入学生等を除く）が教職課程の科目として認定を受けることができる科目は、教育職員免許法施行規則第６６条の７に定めるものに限ります。
＜教育職員免許法施行規則第６６条の７（抜粋）＞
免許法別表第一備考第五号ロの規定により認定課程を有する大学が免許状の授与の所要資格を得させるための教科及び教職に関する科目として適当であると認める科目の単位は、［略］高等学校の教諭の普通免許状にあっては教科に関する専門的事項に関する科目の単位とし、次の表の第一欄に掲げる課程について、それぞれ、第二欄に掲げる免許状の種類に応じ、第三欄に掲げる単位数を限度とする。

第一欄	第二欄	第三欄
課程	免許状の種類	単位数
高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科（学校教育法第五十八条の二（同法第七十条第一項及び第八十二条において準用する場合を含む。）に規定する課程に限る。）	中学校又は高等学校の教諭の普通免許状	１０
短期大学の専攻科		５
高等専門学校（第四学年及び第五学年に係る課程に限る。）		１０
高等専門学校の専攻科		５
専修学校の専門課程（学校教育法第百三十二条に規定するものに限る。）		１０

○ 大学及び短期大学からの編入学生等に対する教職課程の単位認定について

大学及び短期大学からの編入学生等が教職課程の科目として認定を受けることができる科目は、出身学校等が教職の認定課程を有しているか否かで以下のとおり異なります。

１．出身学校等が認定課程を有している場合

在籍していた大学等の認定課程における科目を、教育職員免許法施行規則第１０条の３に基づき認定します（在籍していた大学等が短期大学の場合にあっては、中学校教諭の二種免許状に係る各科目の単位数を上限とする。）。ただし、単位認定できない場合もあります。

免許状取得を希望する学生は、単位認定担当教員との面談時に、在籍していた大学等が発行する「学力に関する証明書」を持参してください。

また、既に他校種・教科の免許状を取得している学生は、面談時にあわせて取得済みの免許状を持参してください。

２．出身学校等が認定課程を有していない場合

教育職員免許法別表第１備考第５号ロ及び同法施行規則第６６条の７に基づき、「教科に関する専門的事項」に関する科目の単位として認定します。ただし、単位認定できない場合もあります。

ついては、大学入学時の単位認定作業において、卒業要件の履修課程表と教職課程の履修課程表を照らし合わせ、認定科目を決める必要があります。場合によっては、卒業要件単位として認定されている科目を要件外の単位として再履修する必要があります。

４．教職に関する連絡等について

教育職員免許状を取得するのに必要な情報（集中講義日程を含む。）や連絡は、次に掲示されます。

・共通教育研究棟１階ロビーの掲示板

・教務システムの連絡通知

実習校との連絡事項、申請方法、説明会について掲示がありますので、常に注意しておく必要があります。

（上級年次の掲示にもできるだけ目を通すようにしておくと、来年度以降の流れがよく判ります。）

また、資料を配布する場合もありますので、配付期間等にも注意をしておく必要があります。

５．必要な経費について

教育職員免許状を取得するまでにかかる経費は、自己負担となります。

必要な経費（※金額は前年度を参照）

・免許状申請費用（１免許状につき、３，３００円）

・教育実習経費（福岡県立学校の場合、１２，０００円）

・連絡用切手代など

※経費が必要な場合は、事前に通知や連絡を行います。

６．教育実習について

・「教育実習」の必修項目は、次のとおりです。

※すべてを履修しないと「教育実習」の単位が取得できません。

※実施時期は変更される可能性があります。

３年		４年	
１２月	３月	５～９月	１２月
事前指導（交流実習）	事前指導・人権教育（講義）	教育実習（実習校）	事後指導（交流実習）

・「教育実習」に関する手続きは、３年次に実習予定校から内諾をもらうことから始まります。

・都道府県市町村によっては、通常行っている手続きの他に独自の手続きが必要な場合があります。
・本人にのみ連絡される事項や書類等もありますので、教務係と連絡を密にしておく必要があります。
研究室においても、指導教員へスケジュール等を必ず報告して下さい。

教育実習を行う前後には、下記のような事務手続きや連絡が必要になります。

1） 実習校との事前打合せについて
2） 欠席届の提出（教務係・履修科目の担当教員）
3） 教育実習経費、及び関係書類の提出（教務係）
4） 教育実習録関係書類の準備（教務係より配付）
5） 教育実習終了の報告

教育実習にあたっては、下記の事項に注意する必要があります。

1） 教育実習中に教育実習生として相応しくない行為等があれば、教育実習を中止させることがあるので、実習先のルールに従って実習期間を過ごすこと。
2） 実習中は、お世話くださる教職員の方々に対し、礼儀をわきまえ、指導教諭の指示に従って実習に精励すること。
3） あらかじめ実習校において定めた、始業・朝礼・会議などの時間は厳守すること。やむを得ず、遅刻・早退・欠席する時は、必ず前もって指導教諭に届け出て承認を求めること。
4） 生徒との交流は常に教える側の立場にあることを配慮して行動すること。
5） 生徒と親しく交わるあまり、礼儀を乱し体面を汚すような行為は、絶対に行わないこと。
6） 実習校の内容又は内情をみだりに他言あるいは公表し、また、他校と比較対照して批判を加えるようなことは厳に慎むこと。
7） 実習校によっては、教室・廊下を下足のまま出入りすることが厳禁されている場合があるので、上履きやスリッパ類を使用することの確認を行っておくこと。
8） 実習生の控え室を清掃し、湯茶は自ら汲み、指定された場所以外では喫煙しないこと。
9） 火災・盗難には、常に十分に留意をすること。
10） 服装には、常に注意を払うこと。

授業実習にあたっては、下記の事項に注意する必要があります。

1） 授業を行うにあたっては、あらかじめ綿密な準備と計画を立てるよう心がけること。
2） 教案を作成すること。（授業で行う例題等も解いておくこと。）
3） 生徒の出欠席は授業の始めに確実にとり、終了後に欠席者を再度確認すること。出席簿は、授業開始前に持っていくこと。
4） 授業変更がなされる場合があるため、職員室の変更黒板の記載事項は常に注意すること。
5） 緊急でやむを得ない時以外は、割り当ての授業実習を確実に行うこと。
6） 実習に出ない時は、指導教諭の指示を受けて、教案の作成、教室での聴講にまわること。

教育実習録については、教育実習の単位の判定資料にもなりますので、大切にして、きちんと記入をする必要があります。

1） 教育実習生調書 …… 詳しく、丁寧に記入する。
2） 実習日誌 …… 毎日記入し、指導教諭に提出する。
3） 教育実習を終えて …… 全期間を通じての反省・感想を記入する。
（これは、教職に就いた時に参考資料となる。）

万一、教育実習期間中、またはその前後に不慮の事故等で実習を受けられない場合や実習終了後すぐに大学へ出て来られない場合は、教務係へ連絡を行うこと。
【九州工業大学情報工学研究院教務学生支援課教務係　ＴＥＬ　０９４８－２９－７５１２】

７．教育職員免許状の一括申請について

教育職員免許状の申請は、各学部で取りまとめて、大学全体で行います。ただし、中には一括申請できない場合もあります。４年生の９月末頃に行われる一括申請説明会に参加し、一括申請の対象者であるかの確認、および、その後の手続きの流れを確認してください。万一、単位不足等で一括申請の対象にならなかった場合は、個人申請を行うことになります。

８．問い合わせ・相談について

教職関係科目の履修方法や単位の修得、教育実習についてなど、教職課程のことについて、学生便覧や配布資料、掲示板を読んでもわからないことや相談したいことがある場合には、教務係へ問い合わせ、相談をして下さい。

４．各種の資格等について

●技術士（技術士法）

情報工学部情報工学科の各分野では、2028年度にJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定継続審査を受ける予定である。

認定を受けた場合は、各分野の教育プログラムの修了により技術士試験の第１次試験が免除される。卒業後は、文部科学省令に定める業務に従事し、その従事した期間が同省令に定める期間を超えることにより、第２次試験を受けることができる。

５．九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府学期末試験要項

平成２１年　６月２４日
情 報 工 学 部 長 裁 定
大学院情報工学府長裁定

最終改正　　令和　７年１２月１７日

目次

第１章　総則（第１条・第２条）
第２章　大学と学生に関する事項（第３条－第６条）
第３章　大学，学生及び教員等に関する事項（第７条）
第４章　大学と教員等に関する事項（第８条－第１１条）
第５章　雑則（第１２条）
附則

（目的）

第１条　この要項は，九州工業大学情報工学部学修細則（平成８年九工大情報工学部細則第８号。以下「学部学修細則」という。）及び九州工業大学大学院情報工学府学修細則（平成３年九工大情報工学府細則第５号。以下「大学院学修細則」という。）に定めるもののほか，九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府の学期末における試験（以下「学期末試験」という。）に関し，必要な事項を定めることを目的とする。

（学期末試験の実施）

第２条　学期末試験は，当該授業科目の成績評価を行う唯一又は最後に行う試験とし，筆記試験によるもののほか，レポート提出，口述試験，実技試験，作品提出等（以下「レポート提出等」という。）により実施するものとする。

２　学期末試験は，当該授業科目が実施される学期末に設ける試験期間（以下「試験期間」という。）に行うものとする。ただし，集中講義又はそれに準ずる形態で実施される授業科目を除く。

３　前項の規定にかかわらず，レポート提出等又は試験期間中に実施しないことに相当の理由がある授業科目の筆記試験は，講義（演習等を含む。）が規定回数行われた後，試験期間に当たらない日に学期末試験を実施することができるものとする。この場合，第５条第２項に規定する方法により，原則として，２週間前までに履修登録者に周知するものとする。

第２章 大学と学生に関する事項

（学期末試験の受験資格）

第３条　学期末試験を受験する資格がある者は，当該授業科目の履修登録者とする。ただし，次の各号の一に該当する者は，受験資格がないものとする。

(1) 休学中又は停学中の者

(2) 学部学修細則第１３条第２項又は大学院学修細則第７条第３項に定める時間数出席していない者

２　前項の規定にかかわらず，当該授業を担当する教育職員（以下「授業担当教員」という。）等の判断により，履修登録者以外にも受験を許可することがある。

（試験時間）

第４条　試験時間は，原則として９０分とし，必要な場合には別に授業担当教員が定めるものとする。

２　障害を有する者で，受験に支障があると認められる場合には，試験時間を１．５倍にすることができるものとする。

３　前項に定めるもののほか，障害を有する者の試験時間，試験実施等については，必要な場合にはその都度，当該学生，当該学生の所属する分野の教務委員会委員又は専門分野の大学院委員会委員，教務学生支援課等が協議し，決定するものとする。

（学期末試験の周知）

第５条　試験期間中に行われる学期末試験は，原則として，試験期間開始の２週間前までに時間割を掲

示することにより周知するものとする。ただし，時間割は，試験当日まで変更する場合があるものとする。
２　レポート提出等及び試験期間中に実施されない学期末試験の場合は，授業担当教員の授業中の口頭による周知，又はその他の方法により周知するものとする。

（試験実施上の注意事項）

第６条　受験者は，試験室では監督者の指示に従うほか，次の注意事項を守らなければならない。
(1) 試験中，学生証を机上に提示すること。
(2) 学生証を忘れた場合には，試験が開始される前までに，教務学生支援課において証明書の発行を受けること。
(3) 授業科目により座席の指定がある場合には，その指示に従うこと。
(4) 許可された物品以外は，机上に置かないこと。
(5) 試験中は，携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電源を必ず切り，使用しないこと。
(6) 試験室への入室は，試験開始後３０分までとし，遅刻してきた場合の試験時間の延長は認めない。ただし，監督者等の指示がある場合には，この限りではない。
(7) 試験中の退室は，試験開始から３０分経過後までは認められず，一旦退室した者の再入室は認めない。ただし，監督者等の指示がある場合には，この限りではない。退室した場合は，静粛かつ速やかに試験室から離れること。
２　学生証を忘れ，証明書の発行を受けていない者に受験を認めた場合には，監督者等は，試験終了後その者を教務学生支援課に引率し，本人確認を行うものとする。

第３章 大学，学生及び授業担当教職に関する事項

（追試験）

第７条　病気，事故，忌引きにより試験を受験できなかった者は，試験終了後１週間以内（入院等の特別な理由がある期間を除く。）に，受験できなかった理由が証明できる書類を添付のうえ，追試験の実施を情報工学部長又は大学院情報工学府長に申出することができるものとする。
２　授業担当教員は，前項の規定による申出がなされ受理された者について，追試験等の必要な措置を講ずるものとする。
３　第１項に規定した理由にかかわらず，授業担当教員の判断により追試験等を行うことができるものとする。
４　第１項及び第３項による追試験等の措置が認められない場合，試験を受験できなかった者は，回答を受けた日から５日以内に追試験の実施を申出することができるものとし，申出が教務委員会又は大学院委員会において認められた場合，授業担当教員は追試験等の必要な措置を講ずるものとする。
５　追試験に関する事項は，別に定める。

第４章以降掲載省略

附　則（最終改正分）

１　この要項は，令和８年４月１日から施行する。
２　令和７年度以前１年次入学生及び令和９年度以前３年次編入生については，本要項第４条第３項中「当該学生の所属する分野」を「当該学生の所属する類若しくは学科」に読み替えるものとする。

６．九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府学期末試験要項（追試験）に係る運用について

九州工業大学情報工学部及び大学院情報工学府学期末試験要項（平成２１年６月２４日情報工学部長及び大学院情報工学府長裁定。以下「要項」という。）第７条第５項の規定に基づき，追試験に係る運用について，下記のとおり定めるものとする。

記

１．申出が受理できる理由及び提出書類について

(1) 要項第７条第１項に規定する「病気」とは，入院した場合（退院後の自宅療養期間を含む。）又は学校保健安全法施行規則（昭和３３年文部省令第１８号）第１８条に規定する感染症（＊）の治療が必要となった場合とする。

・提出書類
医師又は医療機関が発行する診断書，入院期間が確認できる病院の領収書等

＊　学校保健安全法施行規則第１８条に規定する感染症とは，インフルエンザ，百日咳，麻しん，流行性耳下腺炎，風しん，水痘，咽頭結膜熱，新型コロナウイルス感染症，結核，髄膜炎菌性髄膜炎等が該当する。

(2) 要項第７条第１項に規定する「事故」とは，学期末試験当日，事故にあった場合又は非常変災等により交通機関が遮断した場合とする。ただし，大学が休講措置をとった場合には，申出は不要とする。

・提出書類
警察が発行する事故証明書，公共交通機関が発行する不通証明書又は遅延証明書等

(3) 要項第７条第１項に規定する「忌引き」とは，３親等内の親族が死亡し，葬儀，服喪その他の親族の死亡に伴い必要と認められる行事に出席する場合とする。

・提出書類
葬儀日を確認できる会葬御礼，公的機関が発行する死亡日を確認できる書類等

(4) 要項第７条第３項に規定する授業担当教員の判断により追試験等を行う場合

・提出書類
授業担当教員が指示した場合のみ、理由を証明する証拠書類等

(5) その他，病気，事故又は忌引きに準ずるやむを得ない理由により，教務委員会又は大学院委員会が承認した場合とする。

・提出書類
理由書（様式任意）及び理由を証明する証拠書類の他，情報工学部長又は大学院情報工学府長が指示する書類

以下掲載省略

７．九州工業大学情報工学部における早期卒業取扱要項

平成１２年１０月２５日
情 報 工 学 部 長 裁 定

最終改正　　令和　８年　１月２８日

（目的）
第１条　この要項は，情報工学部に在学する学生が，九州工業大学学則（平成１９年九工大学則第１号。以下「学則」という。）第３０条の２及び九州工業大学情報工学部学修細則（平成８年九工大情報工学部細則第８号。以下「学修細則」という。）第７条第３項に基づき，情報工学部における早期卒業の取扱いに関し，必要な事項を定めることを目的とする。
（早期卒業）
第２条　情報工学部に３年以上４年未満在学（休学及び停学した期間を除く。）した学生が，卒業の要件として修得すべき単位を修得し，かつ，当該単位を優秀な成績をもって修得したと認められる場合は，早期卒業をすることができる。
（適用除外）
第３条　学則第２１条から第２４条までの規定により編入学，再入学，転入学及び移籍した者は，早期卒業の対象とならない。
（早期卒業申請の手続き）
第４条　早期卒業を希望する学生は，２年次の３月末日までに，別記様式の早期卒業申請書を情報工学部長に提出するものとする。
（早期卒業における優秀な成績）
第５条　早期卒業を行う学生は，次の要件を満たさなければならない。
⑴　２年次終了時に卒業要件に加算される単位（学修細則第２０条及び第２１条に規定する単位認定されたものを含む。以下同じ。）を８０単位以上修得し，かつ，学修細則第２２条に規定するＧＰＡが３．５以上の者
⑵　３年次前期終了時に卒業要件に加算される単位を１０４単位以上修得し，かつ，ＧＰＡが３．５以上の者
⑶　３年次終了時に卒業要件単位を満たしており，かつ，ＧＰＡが３．５以上の者
（早期卒業の審査）
第６条　早期卒業の審査は，教務委員会の審議を経て，教授会で行う。
（卒業研究等）
第７条　早期卒業を行う学生の卒業研究については，次のとおりとする。
⑴　３年次前期終了時に，教務委員会で適格の認定を受けた学生は，３年次後期に特別卒業研究を履修させる。
⑵　卒業研究については，免除する。

附　則（最終改正分）
この要項は，令和８年４月１日から施行する。

８．九州工業大学情報工学部への移籍に関する取扱要項

平成１２年１０月２５日
情 報 工 学 部 長 裁 定

最終改正　　令和　８年　１月２８日

（目的）
第１条　この要項は，九州工業大学学則（平成１９年九工大学則第１号）第２４条第１項の規定に基づき，工学部に在学する学生が情報工学部への移籍（以下「転学部」という。）をする際の取扱いに関し，必要な事項を定めることを目的とする。
（申請手続）
第２条　申請手続きは，次のとおりとする。
(1) 転学部を希望する学生（以下「転学部希望学生」という。）の申請受付期間は，転学部を希望する前年の１２月１６日から１２月末日までとし，別記様式第１号による申請書に成績証明書を添えて，工学部長に提出のうえ，学長に願い出るものとする。
(2) 工学部長は，転学部希望学生の転学部について差し支えない場合は，別記様式第２号による書類を情報工学部長に１月末日までに提出のうえ，学長に願い出るものとする。
（申請資格）
第３条　転学部希望学生は，次に掲げる要件のいずれにも該当する者でなければならない。
(1) 移籍を志願する理由に妥当性があること。
(2) 年度末に在学期間が２年以上６年未満であること。
(3) 申請の時点で２年次又は３年次であること。
(4) 過去に学部の移籍，又は履修コースの変更を行っていないこと。
（受入れ要件）
第４条　受入れ要件は，次のとおりとする。
(1) 受入れ年次は３年次とする。
(2) 転学部を許可する学生数は，３年次の受入れ分野の欠員数に，教育に支障のない範囲内で若干名（最大３名）を加えた数とする。
（選考）
第５条　選考は，転学部希望学生が志望する受入れ分野において面接を実施し審査のうえ，教務委員会で審議する。
（通知）
第６条　判定結果は，申請のあった年度の３月３１日までに工学部長及び本人へ通知する。

附　則（最終改正分）
１　この要項は，令和８年４月１日から施行する。
２　この要項の施行以前に入学した学生については，なお従前の例による。

９．九州工業大学情報工学部学生の履修コースの決定に関する要項

令和　８年　２月２４日
情 報 工 学 部 長 裁 定
最終改正　　令和　８年　７月２２日

九州工業大学情報工学部学生の履修コースの決定に関する要項

（目的）
第１条　この要項は，九州工業大学情報工学部学修細則（以下「学修細則」という。）第１条の２の定めに基づき，履修コース（以下「コース」という。）の決定の方法について必要な事項を定めることを目的とする。
（対象者）
第２条　コースの決定は，１年次の学生で次に掲げる要件のいずれにも該当するものを対象とする。
(1) 年度末に在学期間が１年以上であること。
(2) 過去にコースが決定していないこと。
（コースの決定等の時期）
第３条　コースの決定等の時期は，次のとおりとする。
(1) 志望の申告期限　１月下旬
(2) 志望の最終変更期限　３月上旬
(3) 決定の公示　３月下旬
（申請手続）
第４条　学生は，前条第１号に規定する申告期限までに，志望の申告（以下「志望申告」という。）を行う。
２　学生は，前条第２号に規定する変更期限までは，志望申告の内容を変更することができる。
３　前条第２号に規定する変更期限までに志望申告を行わない学生又は申告内容に不備のある学生は，いずれのコースに決定してもよいものとして取り扱う。
（各分野に対応するコース及び受入れ学生数）
第５条　各分野に対応するコース及び受入れ学生数は，別表第１に定める。ただし，受入れ学生数について，第７条第１項で決定する学生数を加えることができる。
（順位付けの方法）
第６条　順位付けは，次の各号のとおり行う。
(1) 履修した全ての授業科目（教養教育院の履修課程表に定める授業科目及び所属する分野の履修課程表に定める授業科目をいう。以下同じ。）の成績評価を基に，次の算式により算出した値（小数第３位を切り捨てたもの。以下「平均点」という。）により順位付けを行う。
＜算式＞　　平均点＝｛(得点×単位数）の総和｝／単位数の総和
(2) 前号の平均点が等しい場合は，修得した基礎科目区分の授業科目の平均点を算出し，順位付けを行う。
(3) 前２号の平均点が等しい場合は，修得した基礎科目区分の授業科目のうち得点の高い１０科目の平均点を算出し，順位付けを行う。
２　学修細則第１３条の２の規定により評価された授業科目，学修細則第２０条及び第２１条の規定により単位認定を受けた授業科目並びに卒業要件に加算されない授業科目は，前項各号の平均点の計算の対象には含めない。
３　同じ授業科目（既に修得した授業科目並びに学修細則第２０条及び第２１条の規定により単位認定を受けた授業科目を除く。）を複数回履修した場合は，履修した全ての授業科目の成績評価を第１項各号の平均点の計算の対象とする。
（分野横断型コースの決定方法）
第７条　第３条第２号に規定する変更期限時点で，在籍する分野において別表第２第２欄（「上位者の対象順位」欄）に該当する者は，他の分野に変更することができる。
２　前項に該当する者の志望申告に基づき，志望のコースごとに上位者から同表第４欄（「分野横断型受入学生数」欄）に規定する人数まで決定する。

３　前項の規定により，志望するコースに決定できない場合，次条により決定する。

（分野内コースの決定方法）

第８条　前条第２項に規定する学生以外のコースは，志望申告に基づき，次の各号の順で決定する。

(1) 第１志望のコースごとに，上位者からコースの受入学生数まで決定する。

(2) 前号でコースが決定していない学生は，第２志望のコースごとに，上位者からコースの受入学生数まで決定する。

(3) 前号でコースが決定していない学生は，第３志望のコースに決定する。

(4) 志望申告を行わない学生又は申告内容に不備のある学生は，第４条第３項の規定により，前号までの決定後において受入学生数を満たしていないコースへ決定するものとする。

附　則（最終改正分）

１　この要項は，令和８年７月２２日から施行し，令和８年４月１日から適用する。

２　令和８年２月２４日制定附則第３項中「施行日前」を「令和８年４月１日以前」に改める。

別表第１（第５条関係）

分野	コース	受入学生数
知能情報工学分野	データサイエンス・ＡＩコース	上限６０名
	ＡＩ・メディア情報学コース	上限６０名
	ソフトウェア情報学コース	上限６０名
電子情報通信工学分野	情報ネットワークコース	上限６０名
	情報エレクトロニクス工学コース	上限６０名
知的システム工学分野	ロボティクス・システム制御コース	上限６０名
	システムデザインコース	上限６０名
生命情報工学分野	医用工学コース	上限５０名
	環境生命工学コース	上限５０名

別表第２（第７条関係）

分野	上位者の対象順位	コース	分野横断型 受入学生数
知能情報工学分野	上位１５位以内	データサイエンス・ＡＩコース	上限５名
		ＡＩ・メディア情報学コース	上限５名
		ソフトウェア情報学コース	上限５名
電子情報通信工学分野	上位１０位以内	情報ネットワークコース	上限５名
		情報エレクトロニクス工学コース	上限５名
知的システム工学分野	上位１０位以内	ロボティクス・システム制御コース	上限５名
		システムデザインコース	上限５名
生命情報工学分野	上位１０位以内	医用工学コース	上限５名
		環境生命工学コース	上限５名

１０．九州工業大学情報工学部における分野及び履修コースの変更に関する取扱要項

令和　８年　２月２４日
情 報 工 学 部 長 裁 定

九州工業大学情報工学部における分野及び履修コースの変更に関する取扱要項

（目的）
第１条　この要項は，九州工業大学情報工学部学修細則（平成８年九工大情報工学部細則第８号。以下「学修細則」という。）第１条の３の規定に基づき，情報工学部に在学する２年次以降の学生が情報工学部における分野の変更（以下「転分野」という。）及び分野内の履修コースの変更（以下「転コース」という。）をする際の取扱いに関し，必要な事項を定めることを目的とする。
（申請手続）
第２条　転分野又は転コース（以下「転分野等」という。）を希望する学生（以下「申請者」という。）は，転分野等を希望する前年の１２月１６日から１２月末日までに，次の各号に掲げる区分に応じ，当該各号に定める様式を情報工学部長に提出しなければならない。
(1) 転分野を希望する学生　別記様式第１号
(2) 転コースを希望する学生　別記様式第２号
（申請資格）
第３条　申請者は，次に掲げる要件のいずれにも該当する者でなければならない。
(1) 学修細則第１条の２第１項に定めるコースのいずれか１つを履修していること。
(2) 申請する年度の年度末に在学期間が２年以上であること。
(3) ２年次以降に他の学部への移籍又は転分野等を行っていないこと。
(4) 現に所属する分野及び履修コースにおいて，学修細則第８条第２項に規定する進級要件を満たしていること。
（受入れ年次）
第４条　受入れ年次は，次のとおりとする。
(1) 転分野を希望する場合は，３年次とする。
(2) 転コースを希望する場合は，原則として３年次とする。ただし，申請者が現に所属する分野及び履修コースにおいて学修細則第８条第３項に規定する進級要件を満たしている場合は，４年次とする。
（受入れ学生数）
第５条　転分野等の受入れ学生数は，若干名とする。
（選考）
第６条　選考は，九州工業大学情報工学部学生の履修コースの決定に関する要項（令和８年２月２４日情報工学部長裁定）第６条の規定に準じて算出した申請者の平均点を参考に，受入れ分野等において審査のうえ，教務委員会及び教授会で審議することにより行う。
（通知）
第７条　判定結果は，申請のあった年度の３月３１日までに申請者へ通知する。

附　則
１　この要項は，令和８年４月１日から施行する。
２　九州工業大学情報工学部における学科の移籍及び履修コースの変更に関する取扱要項（令和２年２月１９日裁定）は，廃止する。
３　この要項の施行日前に入学した学生については，なお従前の例による。

１１．情報工学部副専門プログラム

１．プログラム目的・概要

分野横断して他分野の専門科目を履修し、興味ある分野融合領域の専門知識を修得することを目的とし、4 分野それぞれが一つの副専門プログラムを提供する。

当該分野において開講している専門科目のうち、基礎的かつ他分野の学生が分野融合領域を学ぶ上で有益な科目 10 科目程度で構成される。

２．履修対象者

情報工学部 2026 年度以降 1 年次入学生・2028 年度以降 3 年次編入生とする。

３．プログラム修了要件

別表第１に示す内、所属分野以外の同一の副専門プログラムにおいて開講される科目から 6 単位以上を修得すること。

例：知能情報分野以外に所属する学生が、知能情報プログラム科目の中から 6 単位以上修得することで、知能情報プログラムの修了となる。

別表第１

副専門プログラム（情報工学部）

副専門分野	副専門プログラム名	プログラム科目	単位数	修了要件単位
知能情報	知能情報プログラム	計算理論Ａ	2	6 単位以上
		最適化	2	
		データ圧縮	2	
		文字列データ処理	2	
		人工知能基礎	2	
		人工知能論理	2	
		人工知能プログラミング	3	
		自然言語処理	2	
		人工知能応用	2	
		機械学習	2	
		深層学習	2	
		オブジェクト指向プログラミング	3	
		プログラミング言語処理系	2	
		オペレーティングシステム	2	
		ソフトウェア工学	2	
電子情報通信	電子情報通信プログラム	ネットワークアーキテクチャ	2	6 単位以上
		情報セキュリティ	2	
		ネットワークセキュリティ	2	
		電気システム回路Ⅰ	2	
		光情報エレクトロニクス	2	
		半導体情報工学	2	
		電子情報材料工学	2	
		マテリアルデータエンジニアリング	2	
知的システム	知的システムプログラム	ダイナミクス	2	6 単位以上
		現代制御論	2	
		ロボット運動解析学	2	
		流体システム	2	
		サーモダイナミックス	2	
		組込システム	2	
		システムデザインⅠ	2	
		システムデザインⅡ	1	
		構造設計	2	
		システム生産加工学	2	
生命情報	生命情報プログラム	バイオ統計・演習	2	6 単位以上
		バイオインフォマティクス	2	
		医用情報工学	2	
		創薬ケモインフォマティクス	2	
		環境情報学	2	
		バイオ環境計測分析	2	
		環境微生物工学	2	
		生物物理学	2	
		バイオエンジニアリング	2	